KyoAdw

HOKKAI-GAKUEN UNIVERSITY
ARCHITECTURAL DESIGN WORKS '15

Vol.22

Graduation design presenter list '15

Konomi Kawai
Reina Kubo
Kouhei Yoshida
Syuichiro Kawanaka
Hiroaki Kido
Ryoichi Kudo
Rina Funaki
Miyuki Takahashi

2015

CONTENTS

2015年度 「北海学園大学 工学部建築学科　設計作品集」

HOKKAI-GAKUEN UNIVERSITY ARCHITECTURAL DESIGN WORKS'15

subject		page	student no.	name		title
卒業設計	4年生	02	4312212	河中宗一朗	Syuichiro Kawanaka	湖水の景
						＜2015年度北海学園大学工学部建築学科　最優秀作品＞
						＜近代建築別冊「卒業制作2016」掲載作品＞
						＜2015年度日本建築学会北海道支部卒業設計優秀作品 金賞＞
						＜日本建築家協会北海道支部　学生卒業設計コンクール2016 銀賞＞
						＜北海道卒業設計合同講評会2016 審査委員賞＞
						＜せんだいデザインリーグ2016 50選(44位)＞
		10	4312138	吉田昂平	Kouhei Yoshida	つながる器
						＜2015年度北海学園大学工学部建築学科　優秀賞作品＞
						＜2016年度日本建築学会「全国大学・高専卒業設計展示会」出展作品＞
		18	4315801	高橋深雪	Miyuki Takahashi	日系人の歩んだ軌跡～未来へ希望を託した開拓者たちの想い～
						＜2015年度北海学園大学工学部建築学科　特別賞作品＞
		22	4312108	河合この実	Konomi Kawai	まちのおもかげとひとのよりどころ
		23	4312113	久保鈴奈	Reina Kubo	帆～風の人から土の人へ～
		24	4312214	木戸裕章	Hiroaki Kido	記憶の灯火～地域復興を支える介護福祉施設～
		25	4312217	工藤遼一	Ryoichi Kudo	址と跡～空き家とあぜ道による新たな建築形式～
						＜北海道卒業設計合同講評会2016 審査委員賞＞
		26	4309217	船木莉奈	Rina Funaki	都心で育つ～札幌中心部で育つ親子のための都市型保育園～
		27	2015年度卒業設計提出者リスト			
造形演習 Ⅰ	1年生1学期	28	4315135	平沖彩乃	Ayano Hiraoki	問題用紙をモチーフとした平面構成
			4315211	片井壮大	Masahiro Katai	問題用紙をモチーフとした平面構成
			4315247	山上聡太	Souta Yamagami	問題用紙をモチーフとした平面構成
			4315136	平原綸世	Rinsei Hirahara	問題用紙をモチーフとした平面構成
		29	4315227	髙見堂風花	Fuuka Takamidou	季節をテーマとした自画像
			4315144	宮本拓哉	Takuya Miyamoto	季節をテーマとした自画像
			4315102	一関真帆	Maho Ichinoseki	季節をテーマとした自画像
			4315114	久保ふくの	Fukuno Kubo	光をテーマとした平面構成
			4315246	安井春華	Haruka Yasui	光をテーマとした平面構成
			4315231	中川原佳奈	Kana Nakagawara	光をテーマとした平面構成
造形演習 Ⅱ	1年生2学期	30	4315125	多田峻平	Ryouhei Tada	コラージュを主体とした平面構成
			4315110	小野陽平	Yohei Ono	コラージュを主体とした平面構成
			4315209	笠井優汰	Yuuta Kasai	コラージュを主体とした平面構成
			4315242	松田卓也	Takuya Matsuda	コラージュを主体とした平面構成
		31	4315213	黒川模公	Moku Kurokawa	身の回りのモノをモチーフとした細密画
			4315238	福田幹太	Kanta Fukuda	身の回りのモノをモチーフとした細密画
			4314106	小熊　匠	Takumi Oguma	身の回りのモノをモチーフとした細密画
			4315145	本瀬祥子	Syouko Motose	建築と私をテーマとした立体構成
			4315115	窪田裕也	Yuuya Kubota	建築と私をテーマとした立体構成
			4315210	笠原捺未	Natsumi Kasahara	建築と私をテーマとした立体構成
空間デザイン 演習基礎	2年生1学期	32	4314114	坂井　伶	Rei Sakai	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314135	本庄貴裕	Takahiro Honjo	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314205	大坂研斗	Kento Osaka	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314234	西川昌汰	Shouta Nishikawa	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314118	真田　凪	Nagi Sanada	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314120	茂泉悠希斗	Yukito Shigeizumi	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314215	菊地博己	Hiroki Kikuchi	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314227	鈴木恭輔	Kyosuke Suzuki	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314123	鈴木　瞭	Ryo Suzuki	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314132	野村成美	Narumi Nomura	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314212	加藤弦生	Gensei Kato	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314219	坂井駿斗	Hayato Sakai	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314128	中　寿貴	Toshiki Naka	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314141	谷内萌奈美	Monami Yachi	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314203	岩木智穂	Chiho Iwaki	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4313110	折笠凌介	Ryosuke Orikasa	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4312124	高橋季生	Toshiki Takahashi	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314222	佐々木唯	Yui Sasaki	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314133	樋爪陽一	Yoichi Hizume	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314136	松尾彩菜	Ayana Matsuo	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314232	中川拓哉	Takuya Nakagawa	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ
			4314242	三島涼太	Ryota Mishima	個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ

subject	page	title	student no.	name		student no.	name	
	33	Team.RC	4314108	加藤　諒	Ryo Kato	4314215	菊地博己	Hiroki Kikuchi
		グループ課題／	4314118	真田　凪	Nagi Sanada	4314227	鈴木恭輔	Kyosuke Suzuki
		Tea House ～対話を包む空間～	4314120	茂泉悠希斗	Yukito Shigeizumi	4314237	英まさみ	Masami Hanabusa
			4314134	藤岡真惟	Mai Fujioka			
		TeamN/A	4314138	松本蒼志	Aoshi Matsumoto			
		グループ課題／	4312124	高橋季生	Toshiki Takahashi			
		Tea House ～対話を包む空間～	4314207	大森　茜	Akane Omori			
			4314222	佐々木唯	Yui Sasaki			
		「わ」のグループ	4314121	嶋本大輔	Daisuke Shimamoto	4314226	杉谷光弥	Kouya Sugitani
		グループ課題／	4314124	多田伊織	Iori Tada	4314230	出塚帆乃夏	Honoka Detsuka
		Tea House ～対話を包む空間～	4314133	樋爪陽一	Yoichi Hizume	4314232	中川拓哉	Takuya Nakagawa
			4314136	松尾彩菜	Ayana Matsuo	4314242	三島涼太	Ryota Mishima
		FN波	4314107	片山　一	Hajime Katayama	4314212	加藤弦生	Gensei Kato
		グループ課題／	4314123	鈴木　瞭	Ryo Suzuki	4314216	久保直登	Naoto Kubo
		Tea House ～対話を包む空間～	4314126	谷浦脩斗	Syuuto Taniura	4314218	小林泰子	Yasuko Kobayashi
			4314132	野村成美	Narumi Nomura	4314219	坂井駿斗	Hayato Sakai
		さくらい	4314115	櫻井亮太	Ryota Sakurai	4314223	佐々木雄大	Yuudai Sasaki
		グループ課題／	4314139	水尾朋香	Tomoka Mizuo	4314233	納谷滉一	Koichi Naya
		Tea House ～対話を包む空間～	4314213	鎌田壮大	Takehiro Kamada	4314238	林　美里	Misato Hayashi
			4314220	坂下圭佑	Keisuke Sakashita			
		らOU	4314110	北山裕一	Yuichi Kitayama	4314217	郡司裕章	Hiroaki Gunji
		グループ課題／	4314119	澤田元春	Motoharu Sawada	4314221	佐久間南菜	Nana Sakuma
		Tea House ～対話を包む空間～	4314122	菅原大智	Daichi Sugawara	4314235	西村健吾	Kengo Nishimura
			4314130	中村文哉	Fumiya Nakamura	4314244	横山梓織	Saori Yokoyama

subject		page	student no.	name		title
空間デザイン 演習 Ⅰ	2年生2学期	34	4314145	渡辺彩絵子	Saeko Watanabe	カフェ・テラス
		35	4314212	加藤弦生	Gensei Kato	カフェ・テラス
		36	4314136	松尾彩菜	Ayana Matsuo	小課題「住宅をさがそう」
			4314203	岩木智穂	Chiho Iwaki	小課題「住宅をさがそう」
		37	4314138	松本蒼志	Aoshi Matsumoto	住宅
		38	4314203	岩木智穂	Chiho Iwaki	住宅
空間デザイン 演習 Ⅱ	3年生1学期	39	4313108	大西佳那子	Kanako Onishi	デザイン・スクール
		40	4313227	林　健太	Kenta Hayashi	デザイン・スクール
		41	4313123	三貫納巧也	Takuya Sanagashi	小課題「建築作品をさがそう」
			4313213	下家悠花	Haruka Shimoya	小課題「建築作品をさがそう」
		42	4313121	佐藤優太	Yuuta Sato	テナント・ビル
		43	4313244	山本祥暉	Yoshiki Yamamoto	テナント・ビル
建築デザイン論	3年生1学期	44	4315801	高橋深雪	Miyuki Takahashi	太陽の跡
			4313244	山本祥暉	Yoshiki Yamamoto	Invisible and visible
		45	4313141	八木　悠	Haruka Yagi	Light River
			4312204	池田寛二	Kanji Ikeda	Chronostasis
空間デザイン 演習 Ⅲ	3年生2学期	46	4313121	佐藤優太	Yuuta Sato	アート＋建築＝X
		47	4313124	佐野文香	Ayaka Sano	アート＋建築＝X
		48	4313121	佐藤優太	Yuuta Sato	電車通りの「みんなの家」
		49	4313108	大西佳那子	Kanako Onishi	電車通りの「みんなの家」
空間デザイン 演習 Ⅳ	4年生1学期	50	4312138	吉田昂平	Kouhei Yoshida	創成川公園前のトショカン
		51	4312212	河中宗一朗	Syuichiro Kawanaka	創成川公園前のトショカン
		52	4312212	河中宗一朗	Syuichiro Kawanaka	光と邂逅する建築
		53	4312214	木戸裕章	Hiroaki Kido	光と邂逅する建築
第8回 ガクナイコンペ 2015	全学年	54	6314102	山崎貴生	Atsuki Yamazaki	第１位　修士2年生
			4315227	髙見堂風花	Fuuka Takamido	第２位　1年生
			4312212	河中宗一朗	Syuichiro Kawanaka	第３位　4年生
			4313121	佐藤優太	Yuuta Sato	第３位　3年生
			4315114	久保ふくの	Fukuno Kubo	学年賞　1年生
			4314222	佐々木唯	Yui Sasaki	学年賞　2年生
2015年度 コンペ入賞作品		56	6314102	山崎貴生	Atsuki Yamazaki	「第6回JIAテスクチャレンジ設計コンペ」優秀賞　修士２年生
			6314102	山崎貴生	Atsuki Yamazaki	北海道建築士事務所協会「第40回北の住まい住宅設計コンペ」奨励賞1　修士2年生
			6314102	山崎貴生	Atsuki Yamazaki	北海道建築士事務所協会「第40回北の住まい住宅設計コンペ」奨励賞2　修士2年生
修士設計	大学院	58	6314102	山崎貴生	Atsuki Yamazaki	解かれる境界　コウエンと繋がる暮らし ～街区公園を取り巻く札幌市における新たな建築作品の具体的提案～　修士2年生
		60	2015年度科目担当教員リスト			

湖水の景

河中宗一朗
Syuichiro Kawanaka
4312212

2015年度北海学園大学工学部建築学科 最優秀作品
近代建築別冊「卒業制作2016」掲載作品
2015年度日本建築学会北海道支部卒業設計優秀作品 金賞
日本建築家協会北海道支部 学生卒業設計コンクール2016 銀賞
北海道卒業設計合同講評会2016 審査委員賞
せんだいデザインリーグ2016 50選（44位）





敷地は北海道・雪の桂沢にある桂沢湖の湖畔公園である。桂沢湖は昭和32年に完成した北海道初の多目的ダムである「桂沢ダム」によって生まれた大人造湖である。この湖畔公園は、豊かな大自然に囲まれ、昭和32年の桂沢ダム完成当時から人々のアクティビティやコミュニティを内包する場所であった。昭和33年に行われた「第1回桂沢湖水まつり」や「湖と雪竜三笠なつまつり」、「三笠紅葉祭り」のメイン会場として使われ、毎年たくさんの市民や観光客が桂沢湖の風景を介してこの場所を変らずの場としていた。富良野方面へ抜ける国道に接しており、夏から秋にかけて日常的にライダー等のツーリング客が訪れ、冬はワカサギ釣りの名所として利用されている。桂沢のダムとこの湖畔公園は戦後の「雪にとって、街の象徴として存在していた歴史が存在する。

60年前の桂沢ダム完成時からこの公園では、豊かな自然の中で人々の多様なアクティビティが存在していた。その公園が今、ダムの嵩上げ工事によって水没しようとしている。そこで、一年通して上下する水位の変化に対応した建築を作ることで、この桂沢湖でのアクティビティを新ダム完成後の未来に向けて存続させ、同時に桂沢湖の持つ豊かな自然を享受できるような公園事前拡張施設を提案する。



平面ダイアグラム

一年を通した水位の変化を分析すると，既存の公園が全て沈む時期と全て現れる時期が存在することがわかる。このことから，水位が上がった時の新しい公園の風景と今までの公園の風景が入れ替わり現れる特殊な性質持つ敷地であると言える。そこで，この公園を全く新たなものとして扱うのではなく，既存の公園の植生，動線，使われ方，地形，またそれらと周との関係性を踏襲するとともに，新しい機能を公園内のふさわしい場所に組み込み平面を決定していくことを考える。これによって，この場所を日常的に利用していた人々と新しく訪れた人々の両者に，この公園が持つ様々な魅力を感じさせるまたは再発見させることができると考える。



①既存の公園の間の違いを分析しメタファを見つける。



②公園の間の違いを顕在化させる境界線と新しい空間を創て。



③さらにそれぞれのメタファの使われ方，接続，動線部分を分析し，それに合わせて新空間を変形させていく。



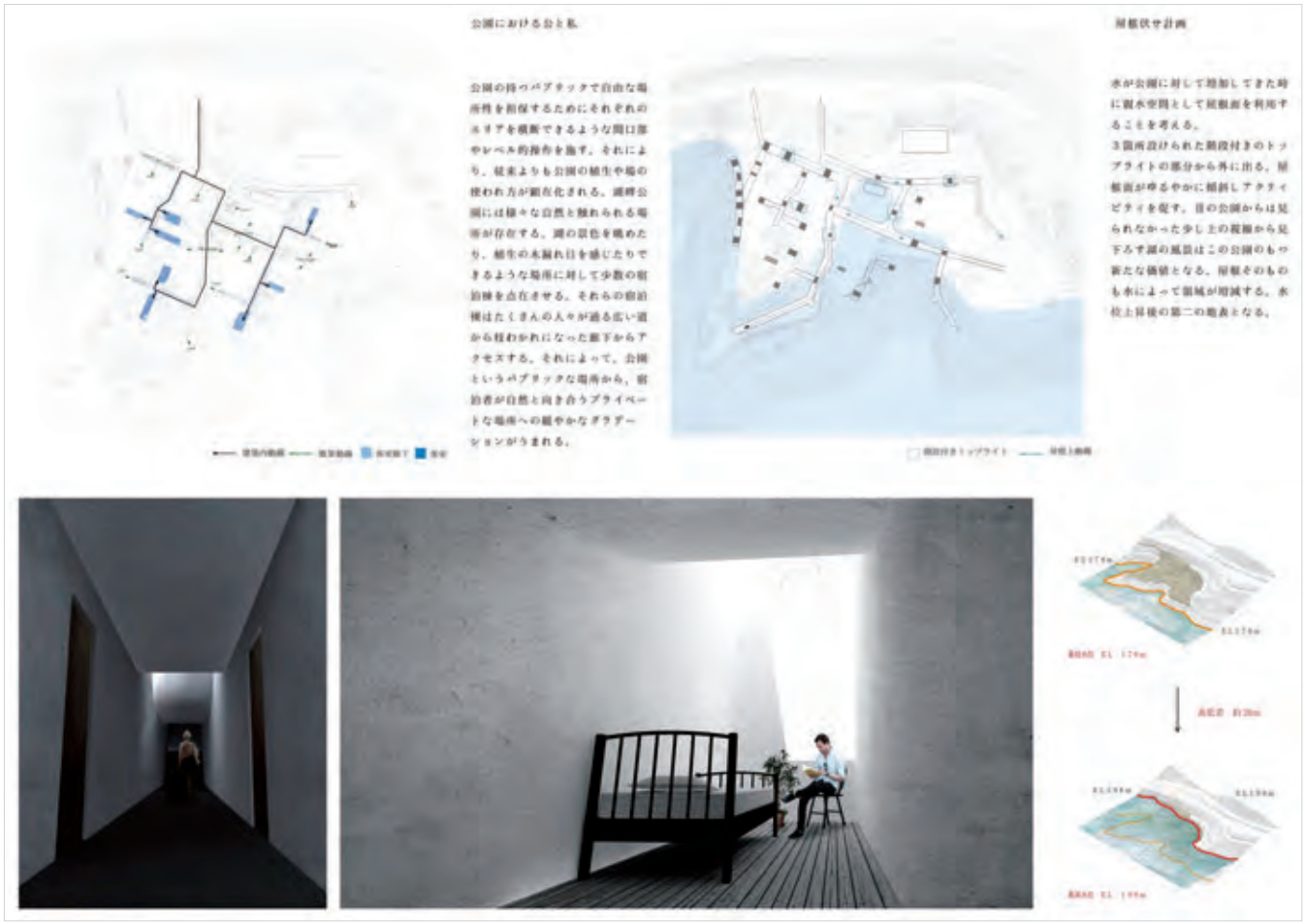
④新たに組み込むプログラムと内部からの展望，または動線によって，道路や新空間の形態が変化していく。

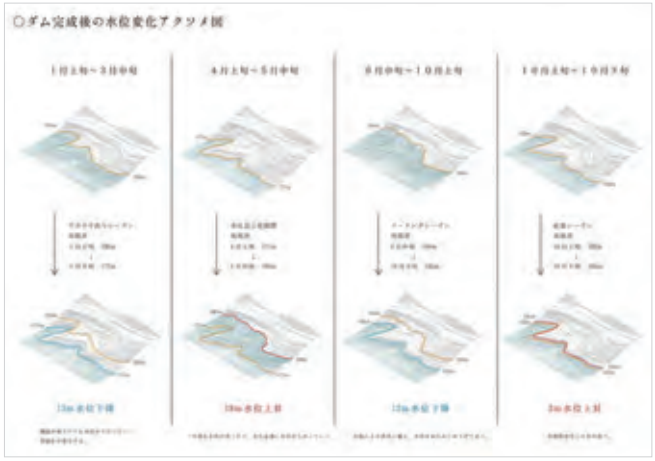
平面決定の手掛かり



公園内のアクティビティ　公園内の動線　公園内から園への視線　公園内の植生　環境としての公園

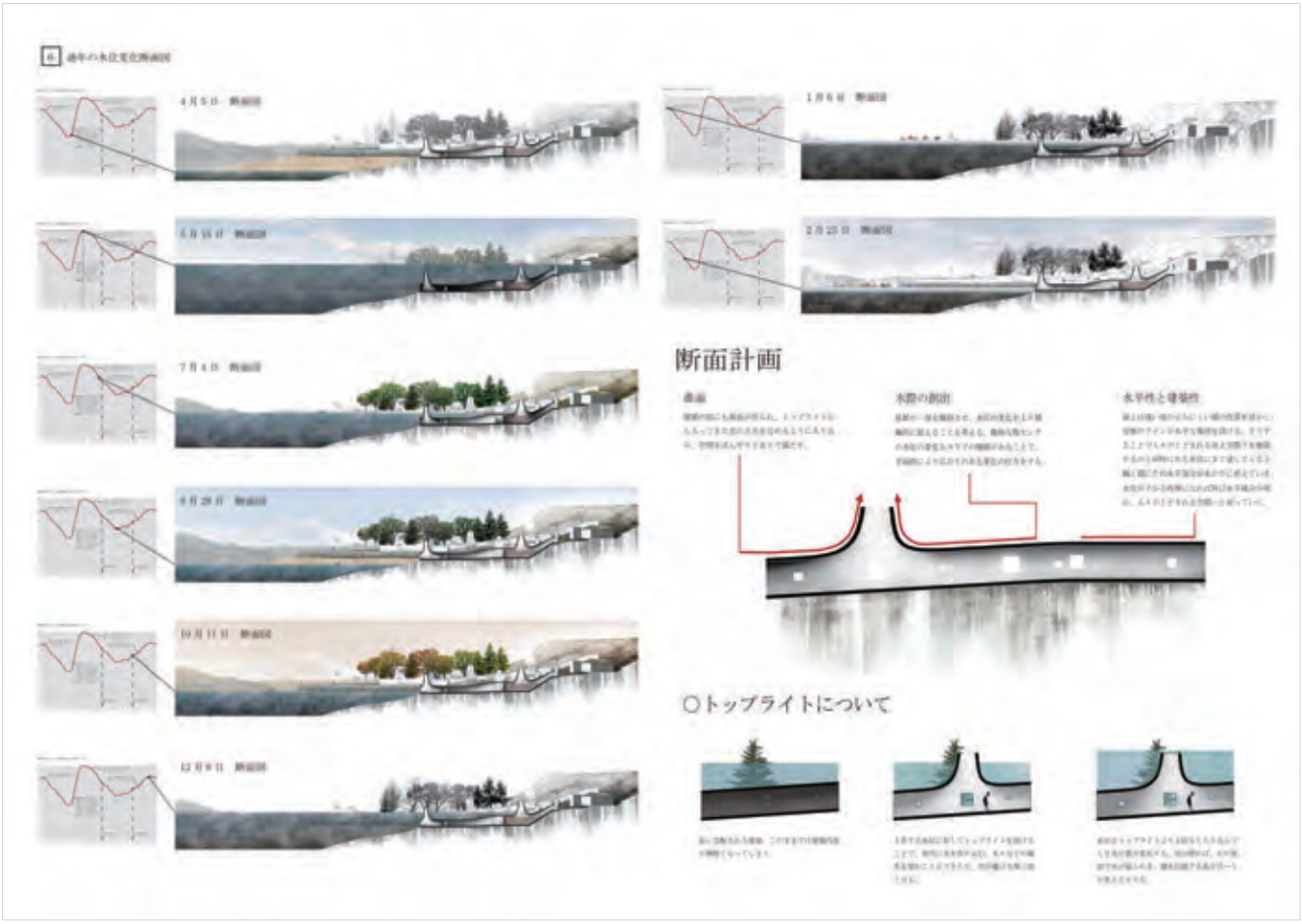


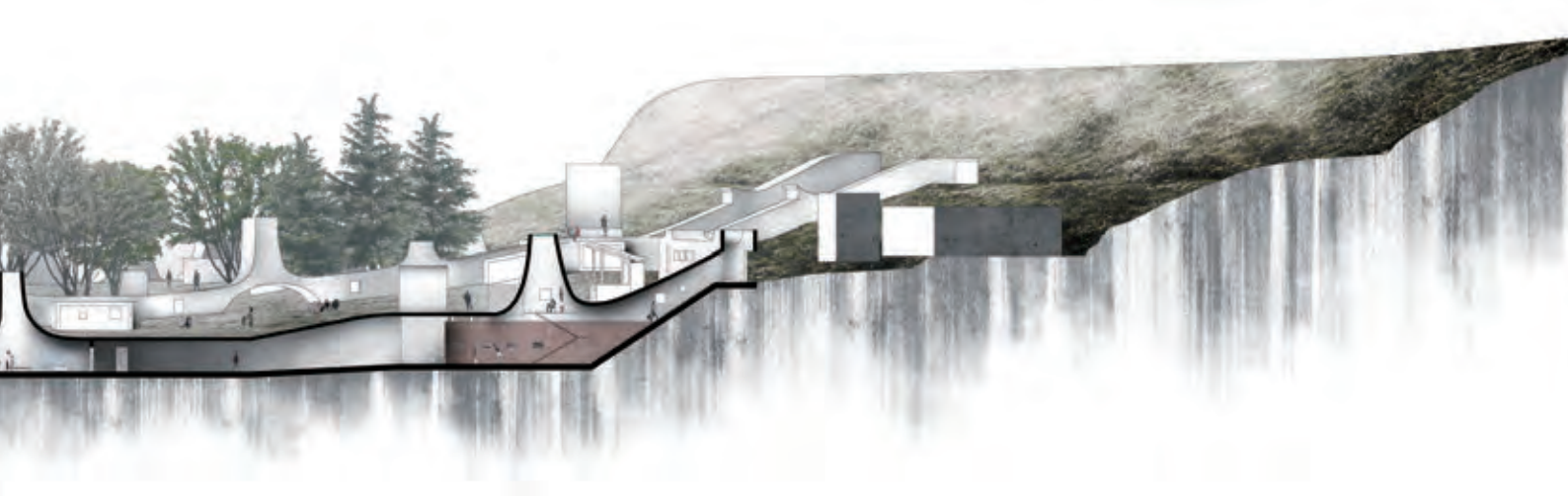

公園における公と私
公園の持つパブリックで自由な場所性を担保するためにそれぞれのエリアを横断できるような開口部やレベル的操作を施す。それにより、従来よりも公園の植生や場の使われ方が顕在化される。緑畔公園には様々な自然と触れられる場所が存在する。湖の景色を眺めたり、植生の木漏れ日を感じたりできるような場所に対して少数の宿泊棟を点在させる。それらの宿泊棟はたくさんの人々が通る広い道から程わかれになった下からアクセスする。それによって、公園というパブリックな場所から、宿泊者が自然と向き合うプライベートな場所への緩やかなグラデーションがうまれる。
屋根吹き計画
水が公園に対して増加してきた時に貯水空間として屋根面を利用することを考える。
3箇所設けられた階段付きのトップライトの部分から外に出る。屋根面がゆるやかに傾斜しアクティビティを促す。日の公園からは見られなかった少し上の視線から見下ろす湖の風景はこの公園のもつ新たな価値となる。屋根そのものも水によって領域が増減する。水位上昇後の第二の地表となる。


○ダム完成後の水位変化アクソメ図

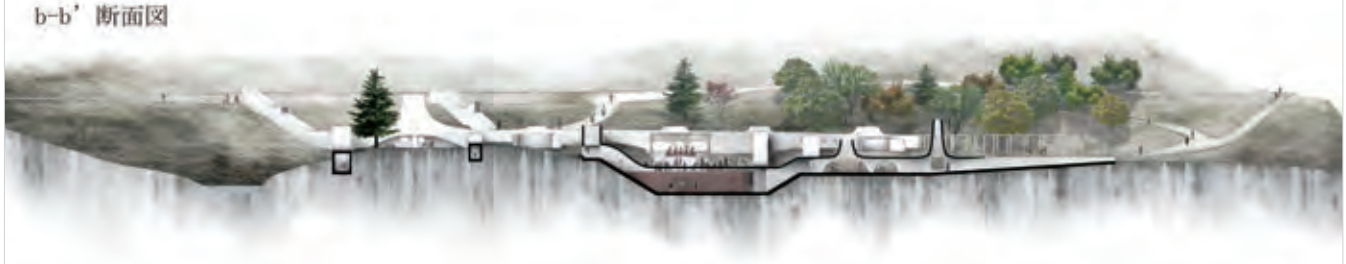
a-a’ 断面図



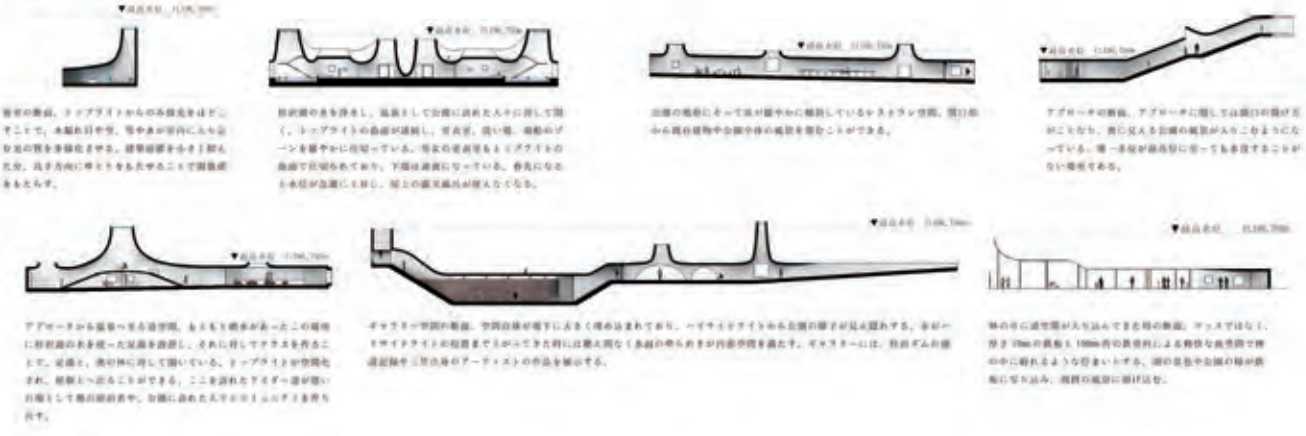




b-b’ 断面図

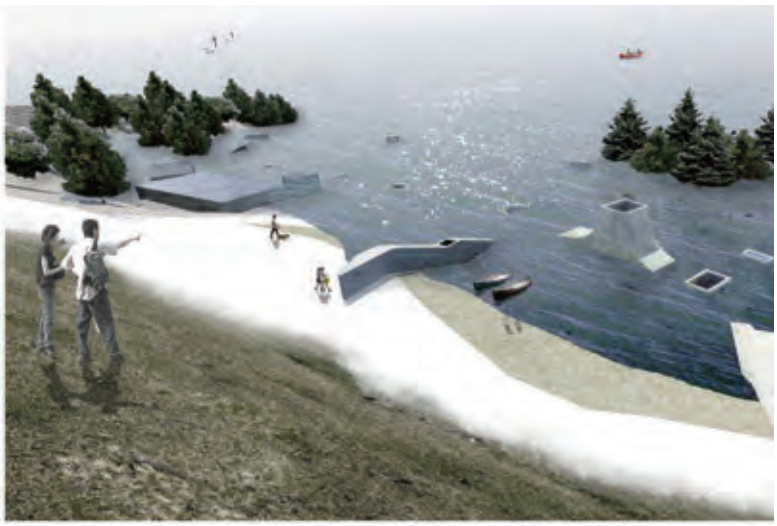


部分断面図

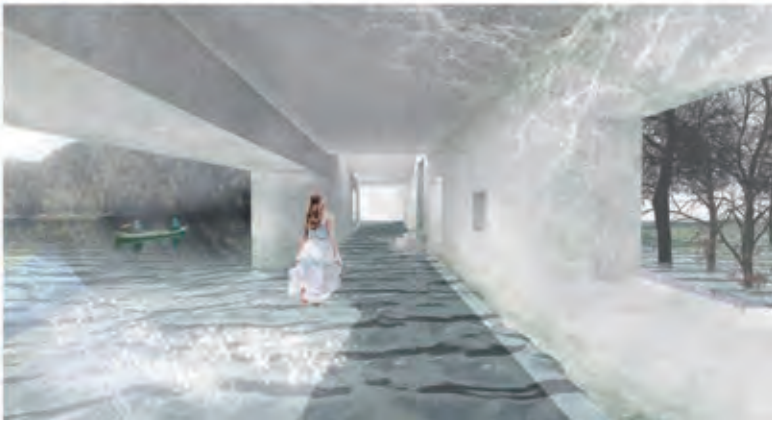








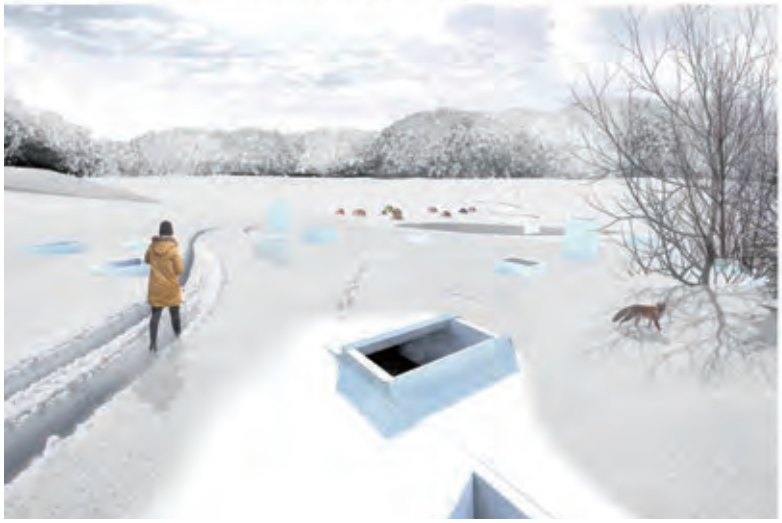




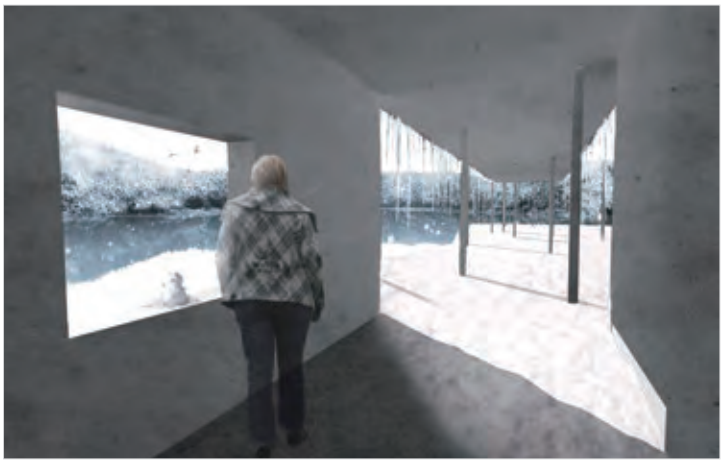








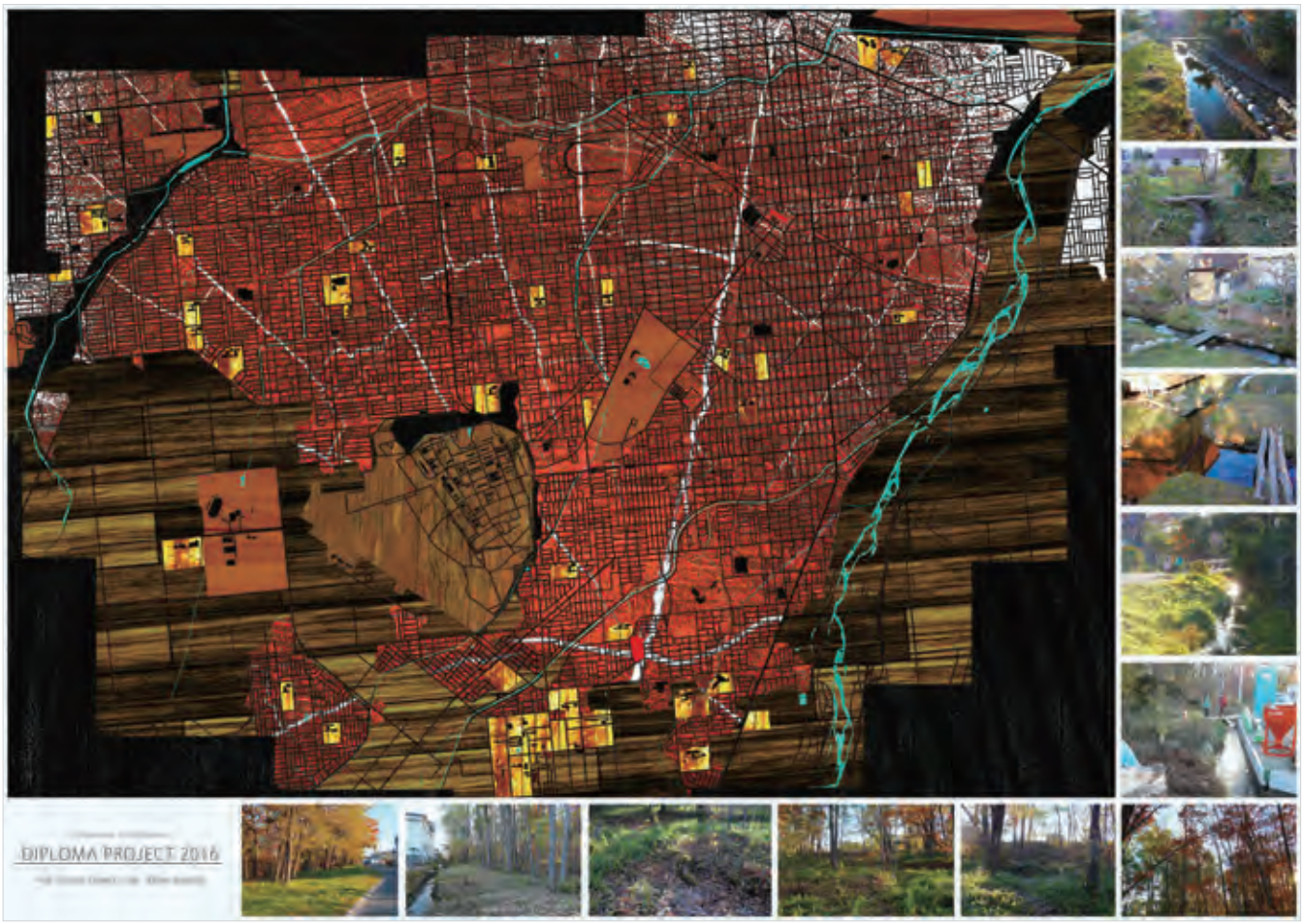




つながる器

吉田昴平
Kouhei Yoshida
4312138

2015年度北海学園大学工学部建築学科 優秀賞作品
2016年度日本建築学会「全国大学・高専卒業設計展示会」出展作品

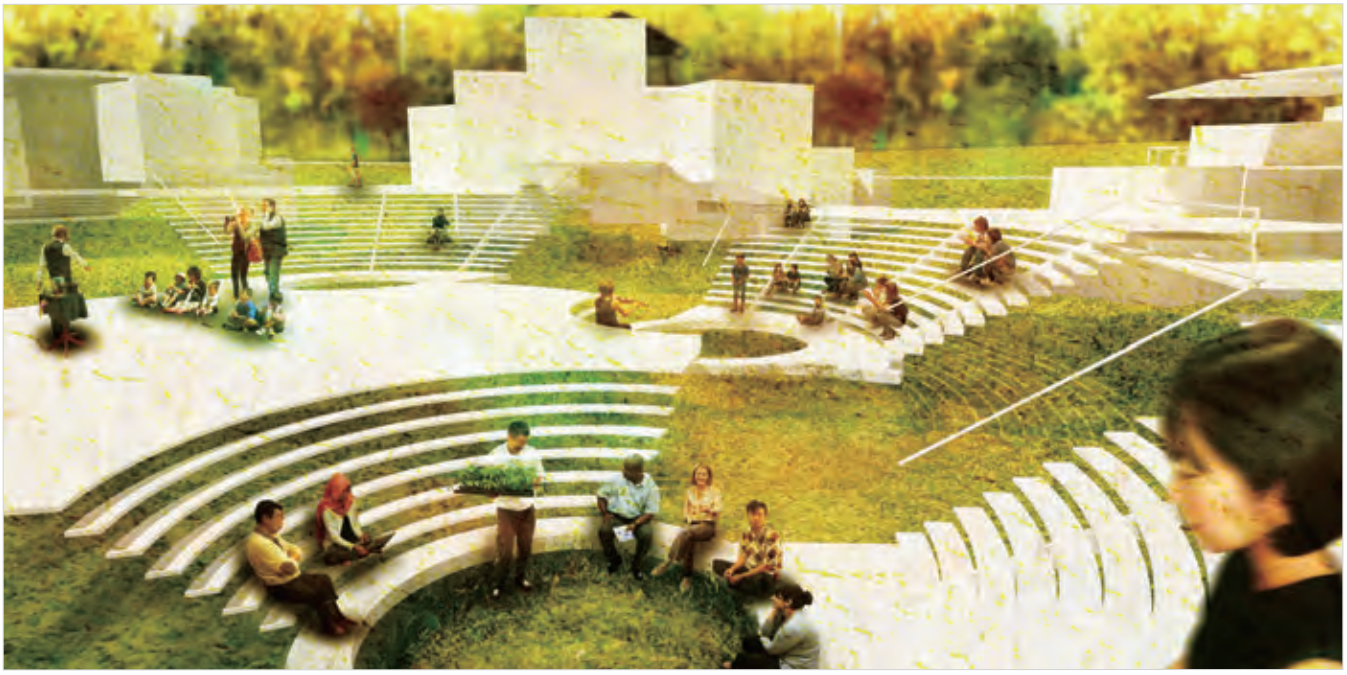






























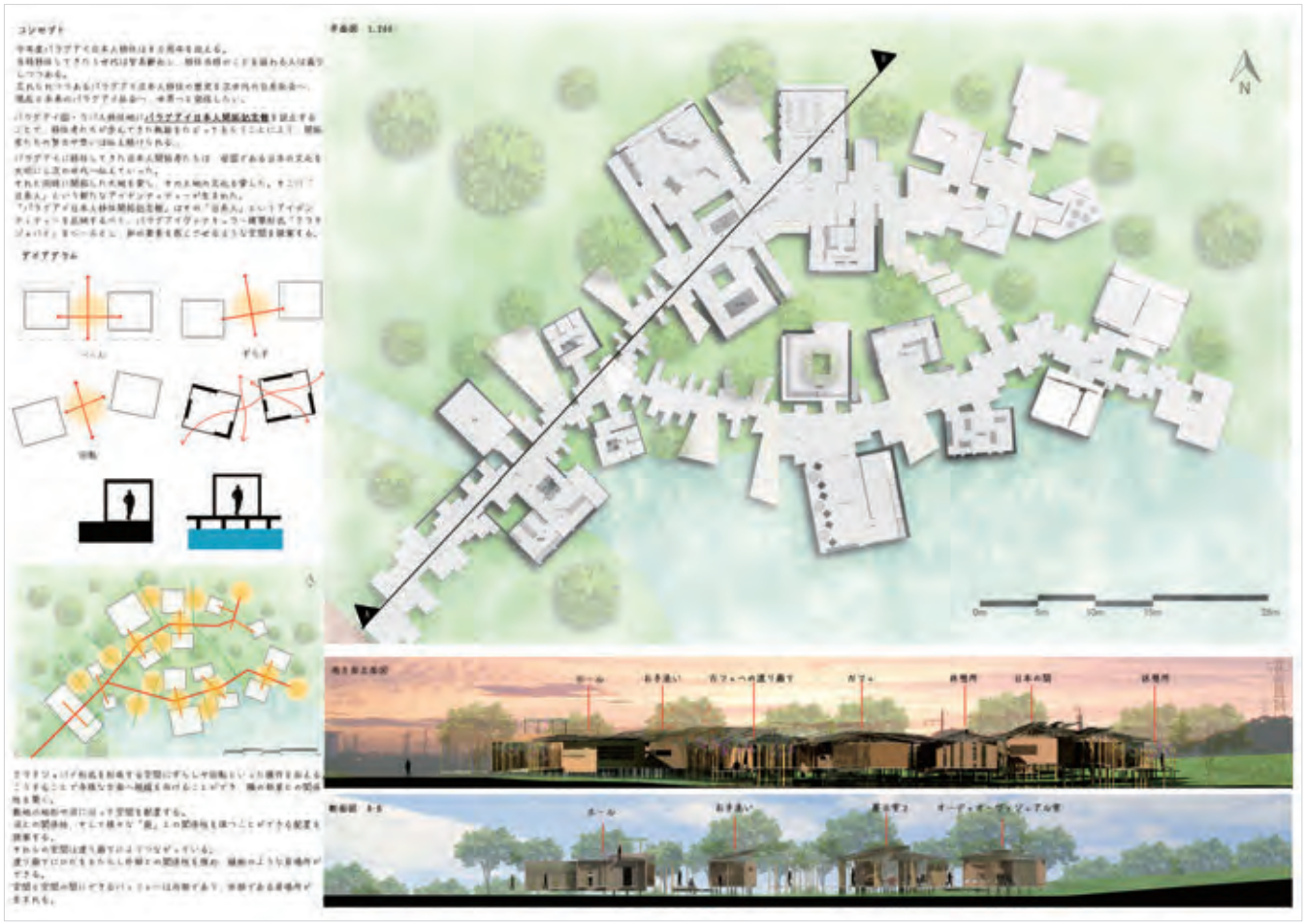
日系人の歩んだ軌跡〜未来へ希望を託した開拓者たちの想い〜

高橋深雪
Miyuki Takahashi
4315801

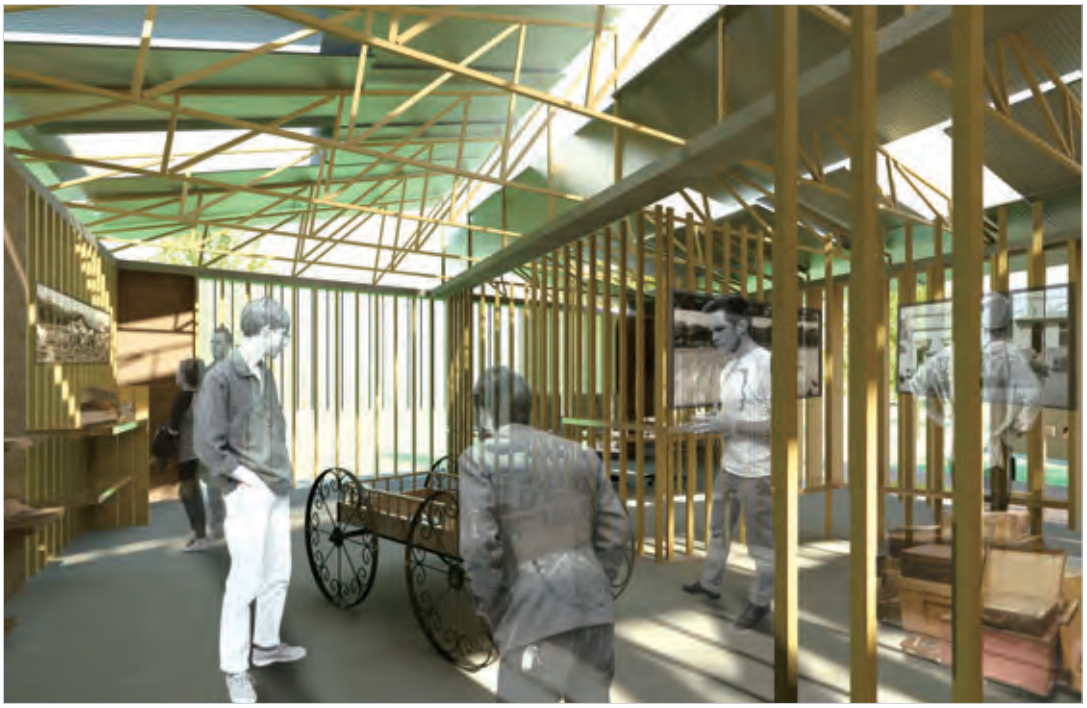
2015年度北海学園大学工学部建築学科 特別賞作品













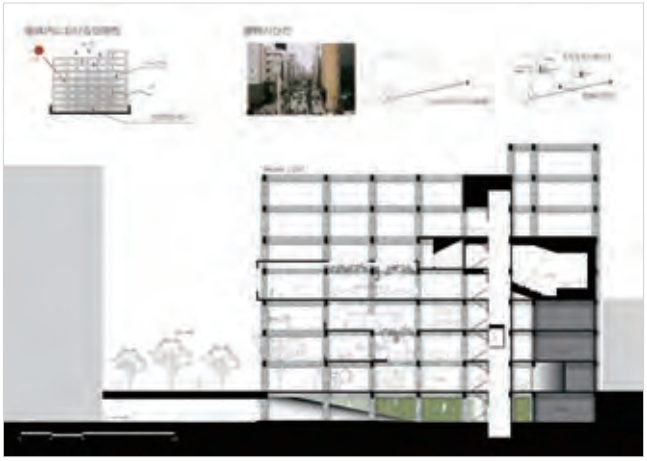




まちのおもかげとひとのよりどころ

河合この実
Konomi Kawai
4312108





帆〜風の人から土の人へ〜

久保鈴奈
Reina Kubo
4312113



記憶の灯火〜地域復興を支える介護福祉施設〜

木戸裕章
Hiroaki Kido
4312214





址と跡〜空き家とあぜ道による新たな建築形式〜

工藤遼一
Ryoichi Kudo
4312217

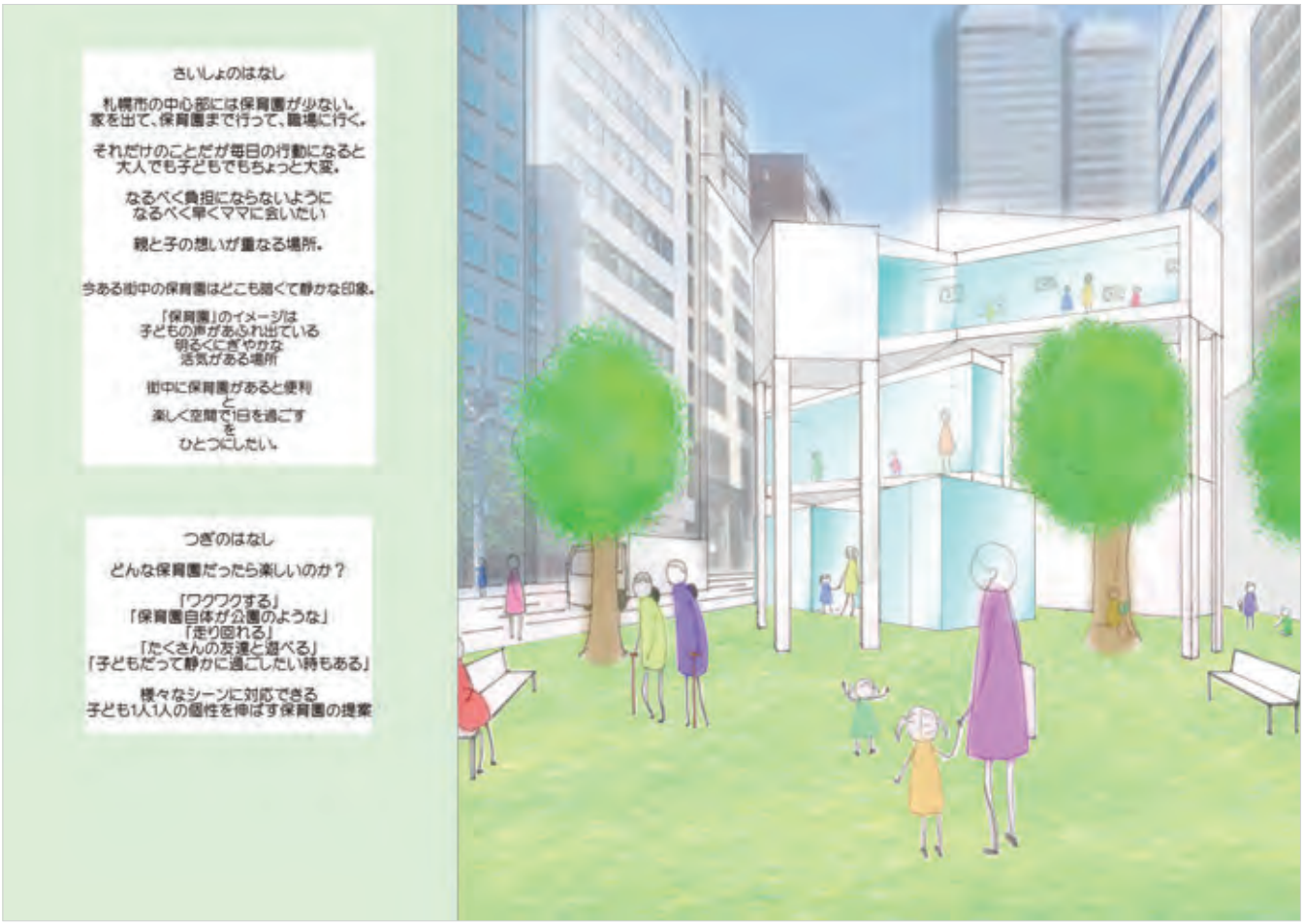
北海道卒業設計合同講評会2016 審査委員賞

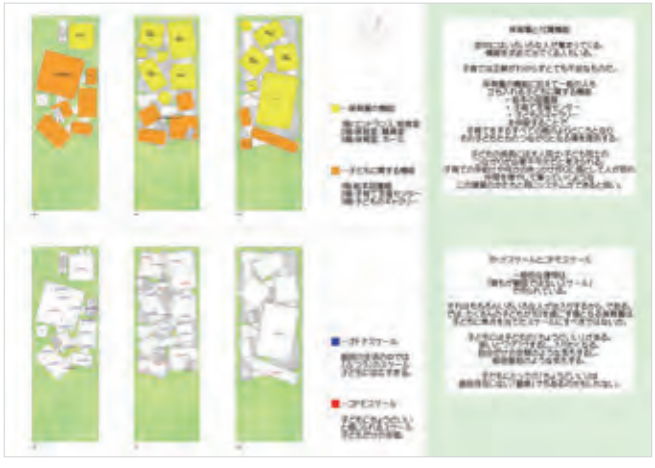




都心で育つ〜札幌中心部で育つ親子のための都市型保育園〜

船木莉奈
Rina Funaki
4309217





2015年度 北海学園大学 工学部建築学科　卒業設計提出者リスト

Graduation design presenter list '15

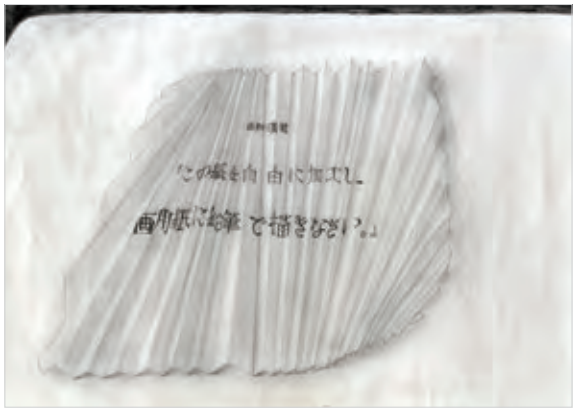
4312108	河合この実	Konomi Kawai	まちのおもかげとひとのよりどころ
4312113	久保鈴奈	Reina Kubo	帆〜風の人から土の人へ〜
4312138	吉田昂平	Kouhei Yoshida	つながる器
4312212	河中宗一朗	Syuichiro Kawanaka	湖水の景
4312214	木戸裕章	Hiroaki Kido	記憶の灯火〜地域復興を支える介護福祉施設〜
4312217	工藤遼一	Ryoichi Kudo	址と跡〜空き家とあぜ道による新たな建築形式〜
4309217	船木莉奈	Rina Funaki	都心で育つ〜札幌中心部で育つ親子のための都市型保育園〜
4315801	高橋深雪	Miyuki Takahashi	日系人の歩んだ軌跡〜未来へ希望を託した開拓者たちの想い〜

① 問題用紙をモチーフとした平面構成

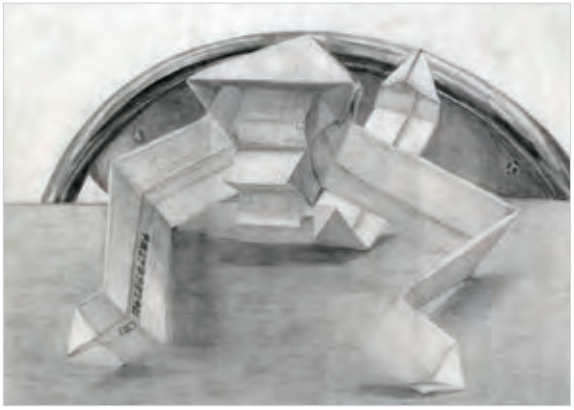
この紙を自由に加工し、画用紙に鉛筆で描きなさい。（素材は鉛筆）
紙のもつ性質と印刷された文字をうまく生かしながら表現すること。



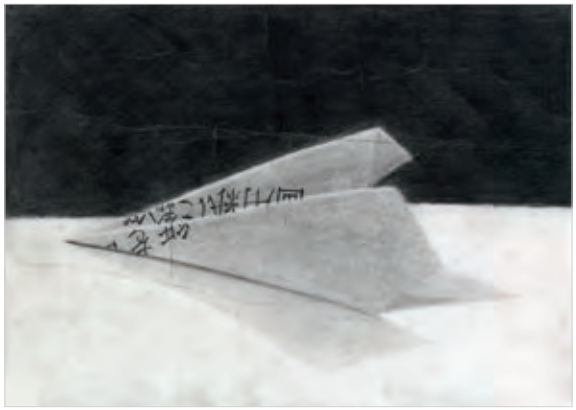
① 平沖彩乃
Ayano Hiraoki
4315135



① 山上聡太
Souta Yamagami
4315247



① 片井壮大
Masahiro Katai
4315211



① 平原綸世
Rinsei Hirahara
4315136

② 季節をテーマとした自画像

季節をテーマに自画像を描きなさい。（素材は鉛筆）
自画像の配置は自由ですが、画面に今の季節を感じさせる要素を必ず入れること。

③ 光をテーマとした平面構成

光をテーマに自由に表現しなさい。（着彩）
安易に光を直接描こうとせず、光とはどういうものか？もう一度しっかり自然を観察しながら、
あなたの狙いが表現できる場所で描くこと。（屋外制作）



② 髙見堂風花
Fuuka Takamidou
4315227



③ 久保ふくの
Fukuno Kubo
4315114



② 宮本拓哉
Takuya Miyamoto
4315144



③ 安井春華
Haruka Yasui
4315246



② 一関真帆
Maho Ichinoseki
4315102



③ 中川原佳奈
Kana Nakagawara
4315231

④ コラージュを主体とした平面構成

与えられた写真の中から2要素程度とりあげ、それらを主役とした画面を構成しなさい。（素材は自由）
コラージュしたものが画面の中で自然に存在するよう空間を描くこと。



④ 多田崚平
Ryouhei Tada
4315125



④ 笠井優汰
Yuuta Kasai
4315209



④ 小野陽平
Youhei Ono
4315110



④ 松田卓也
Takuya Matsuda
4315242

⑤ 身の回りのモノをモチーフとした細密画

細密描写にふさわしいモチーフをあなたの身の回りから探し出し、平面構成しなさい。（着彩）
全体のバランスというより、普段は面倒臭くて省略したくなるような細部に視点を向けること。

⑥ 建築と私をテーマとした立体構成

与えられた素材（スチレンボード、樹脂粘土）を最大限に生かし「建築と私」をテーマに
自由に表現しなさい。（素材は自由）
但し、作品サイズは28cm×21cm×5cmの範囲内とする。



⑤ 黒川模公
Moku Kurokawa
4315213



⑥ 本瀬祥子
Syouko Motose
4315145



⑤ 福田幹太
Kanta Fukuda
4315238



⑥ 窪田裕也
Yuuya Kubota
4315115



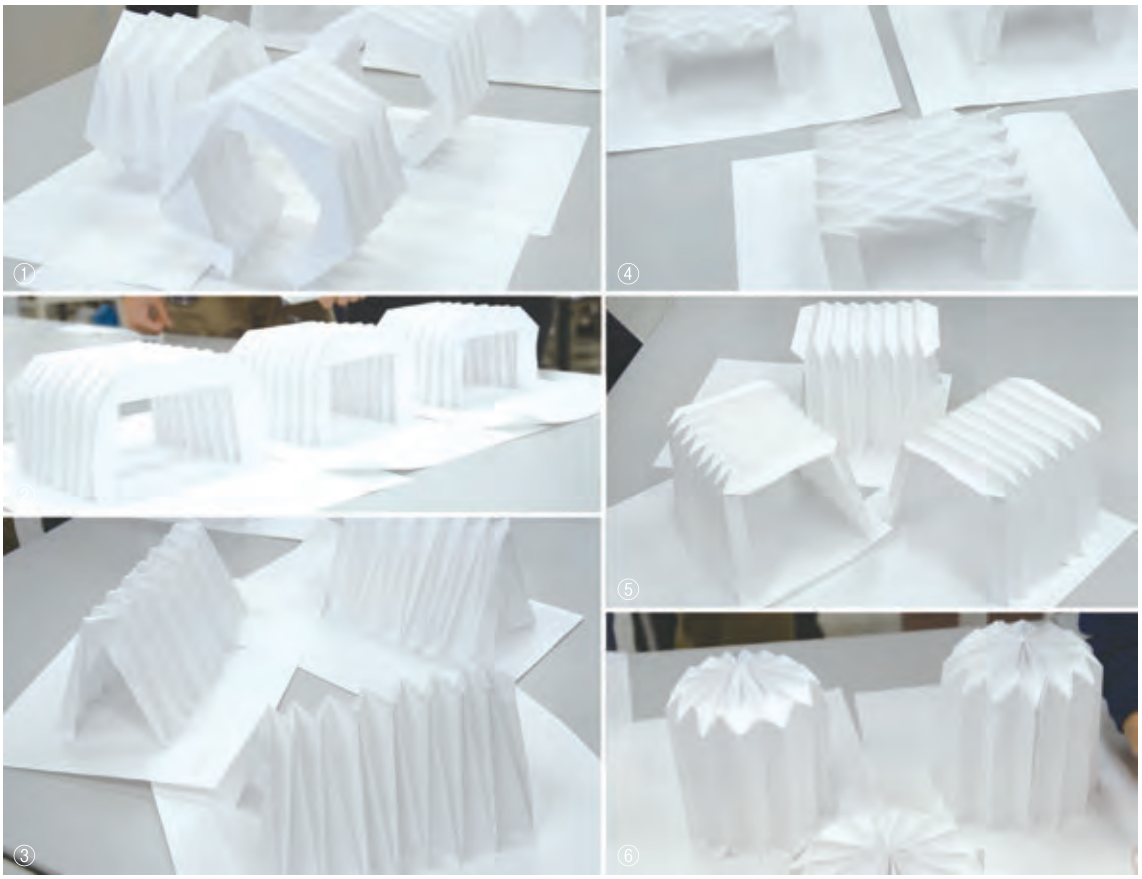
⑤ 小熊　匠
Takumi Oguma
4314106



⑥ 笠原捺未
Natsumi Kasahara
4315210

個人・小グループ課題／うつくしさ ∩ つよさ

２年生の１学期から山鼻キャンパスでの生活がはじまる。建築学科に入り最初の空間デザイン演習である。
空間には美しさと強さの両立が求められる。演習の冒頭では、一枚の紙から無限に空間を生み出せる折板構造を通じ、美しさと強さの極みについて探求を試みる。限られた材料を用いて、材料の特性と構法の特徴を理解し、それを活かすことは、空間を創造する力の裾野を広げる。
初期段階では各個人が制作検討を進める。その後、自らの案を携えて3〜4名の小グループによる協議・制作へと移行する。完成後には、作品の美しさを互いに評価したのち、簡易な強度試験を実施する。



①
4314114　坂井　伶
4314135　本庄貴裕
4314205　大坂研斗
4314234　西川昌汰

②
4314118　真田　凪
4314120　茂泉悠希斗
4314215　菊地博己
4314227　鈴木恭輔

③
4314123　鈴木　瞭
4314132　野村成美
4314212　加藤弦生
4314219　坂井駿斗

④
4314128　中　寿貴
4314141　谷内萌奈美
4314203　岩木智穂

⑤
4313110　折笠凌介
4312124　高橋季生
4314222　佐々木唯

⑥
4314133　樋爪陽一
4314136　松尾彩菜
4314232　中川拓哉
4314242　三島涼太

演習の風景


折半構造の習得


グループ作業（ワークショップ・空間イメージ共有・模型による検討）

グループ課題／
Tea House
～対話を包む空間～

演習の後半では、個人・小グループ課題を通じて得た創造経験を踏まえて6～8名のグループ制作に移行する。作品のテーマ設定、アイディア出し、素材の探索、工程計画の設定、1：10模型による検討などを経て、実寸作品の制作を目指す。グループ課題の目的は次の5点である。

①1,800mm立方のなかに人の感覚との関係を考慮した空間を創造する。
②テーマと空間との完全なる合致を探求する。
③具体的用途への応答に縛られずに空間性を意識する。
④コミュニケーション能力、責任ある作業分担能力、スケジュール管理能力を身につける。
⑤イメージ（想像）とリアル（現実）の間にある様々な要素を自ら発見・体験する。



Team.RC
4314108　加藤　諒
4314118　真田　凪
4314120　茂泉悠希斗
4314134　藤岡真惟
4314215　菊地博己
4314227　鈴木恭輔
4314237　英まさみ



FN波
4314107　片山　一
4314123　鈴木　瞭
4314126　谷浦脩斗
4314132　野村成美
4314212　加藤弦生
4314216　久保直登
4314218　小林泰子
4314219　坂井駿斗



TeamN/A
4314138　松本蒼志
4312124　高橋季生
4314207　大森　茜
4314222　佐々木唯



さくらい
4314115　櫻井亮太
4314139　水尾朋香
4314213　鎌田壮大
4314220　坂下圭佑
4314223　佐々木雄大
4314233　納谷滉一
4314238　林　美里



「わ」のグループ
4314121　嶋本大輔
4314124　多田伊織
4314133　樋爪陽一
4314136　松尾彩菜
4314226　杉谷光弥
4314230　出塚帆乃夏
4314232　中川拓哉
4314242　三島涼太



らOU
4314110　北山裕一
4314119　澤田元春
4314122　菅原大智
4314130　中村文哉
4314217　郡司裕章
4314221　佐久間南菜
4314235　西村健吾
4314244　横山梓織

グループ課題　実寸制作



制作風景



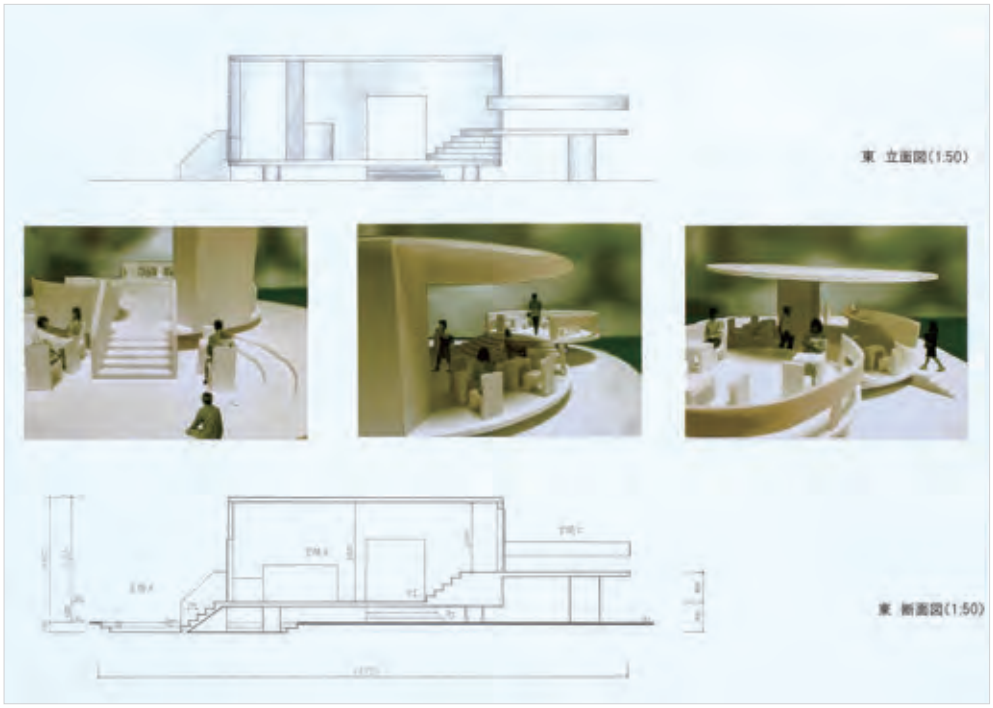
発表風景

カフェ・テラス

工学部校地の一角に建つ学生・教職員のための「たまり場（カフェテラス）」の設計。敷地は東西12m×南北15m。床面積は50㎡程度まで。用途は喫茶を主とするが、作品展示コーナー、ミーティングルームなど、各自が必要と考えるスペースも自由に盛り込んでよい。

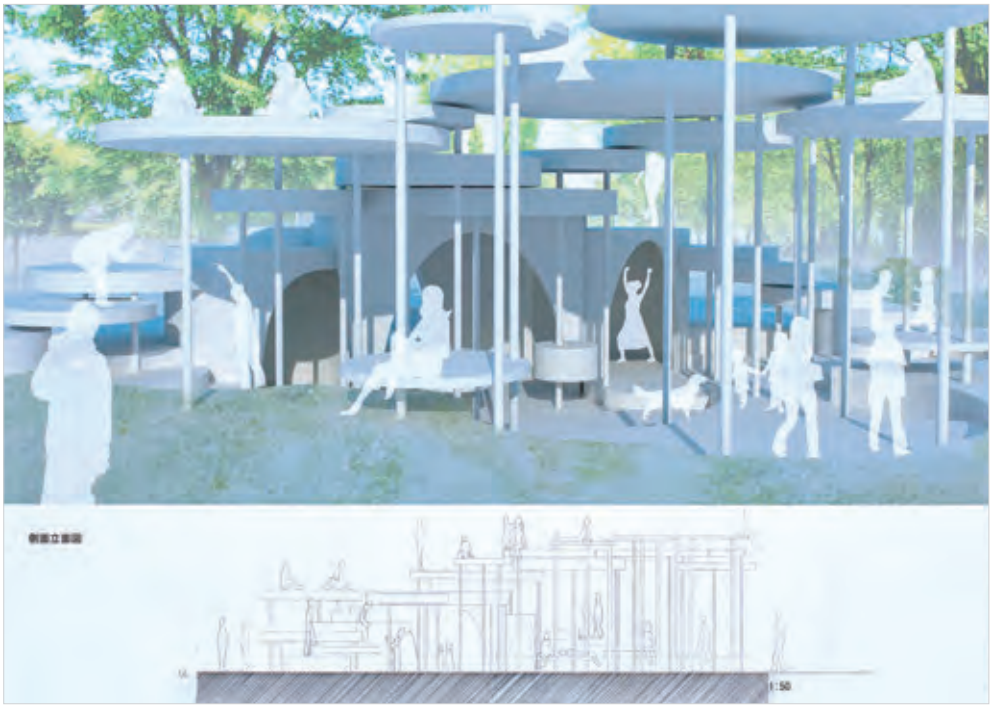
渡辺彩絵子
Saeko Watanabe
4314145





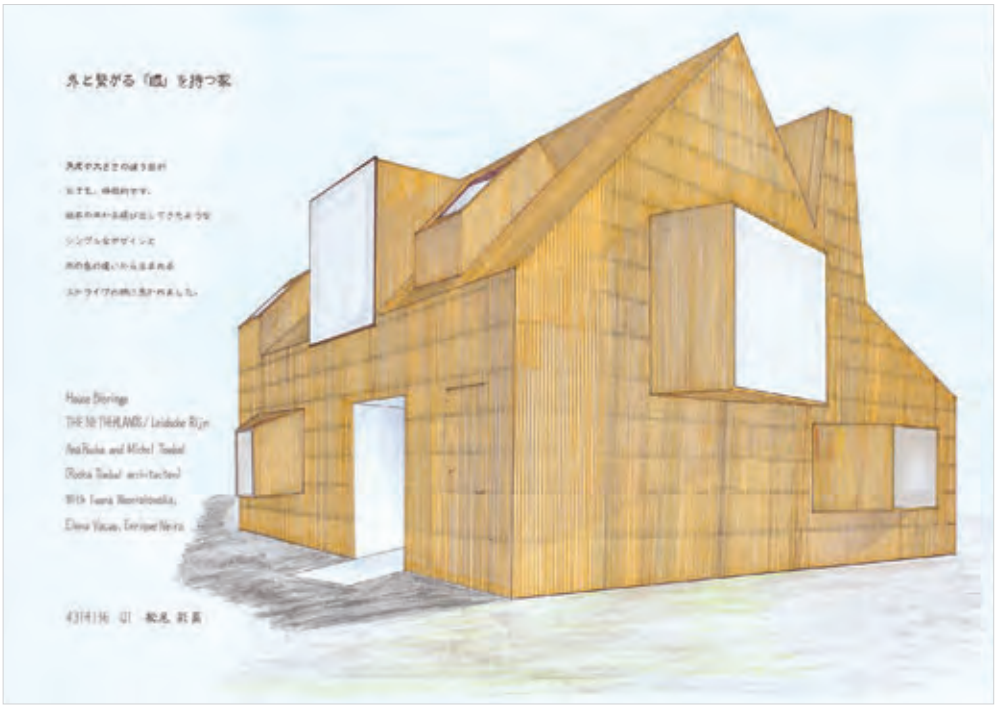
加藤弦生　4314212
Gensei Kato



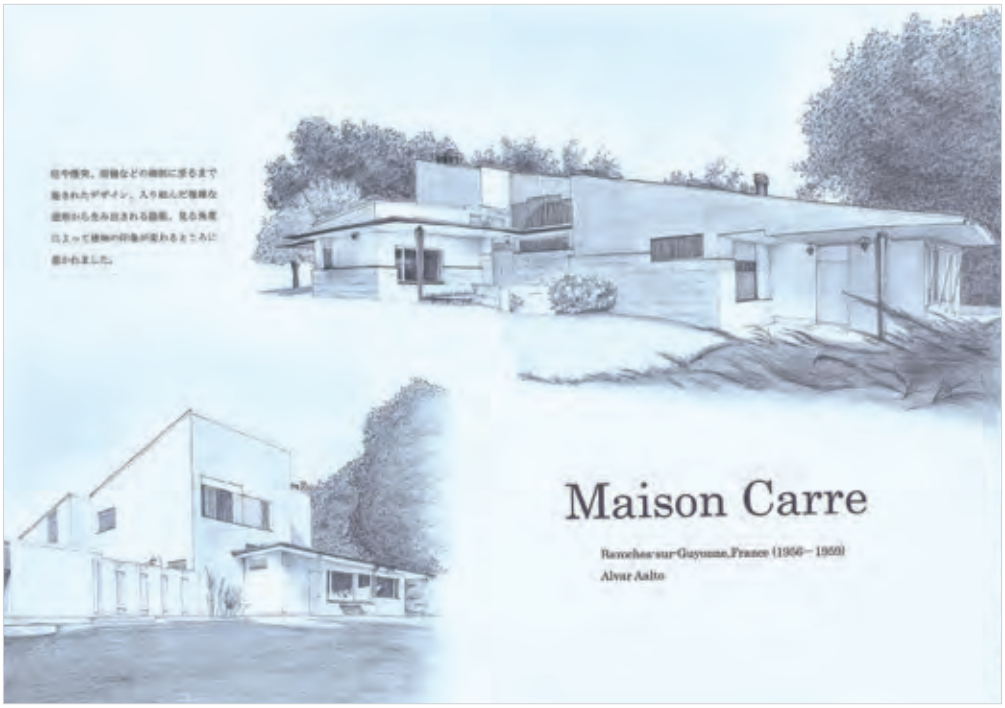


小課題「建築作品をさがそう」

デザインを学ぶ効果的な方法の一つは、優れた作品をたくさん見ること、そしてそれを手で描いてみることです。この課題はそのためのトレーニングであるとともに、次の課題「住宅」のための事例研究も兼ねています。



松尾彩菜
Ayana Matsuo
4314136

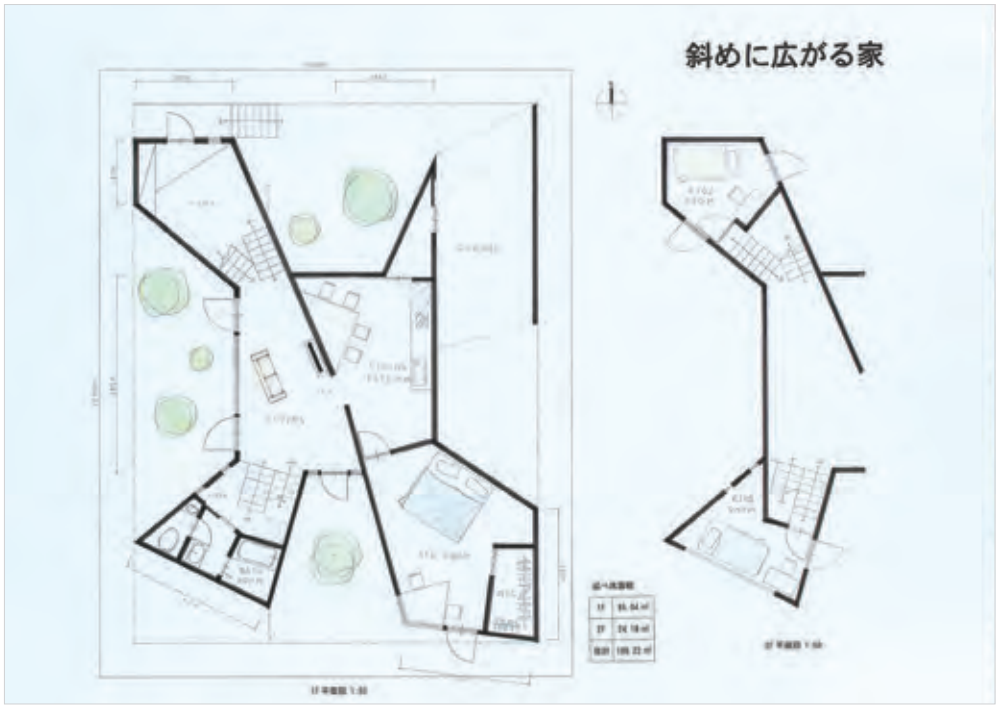


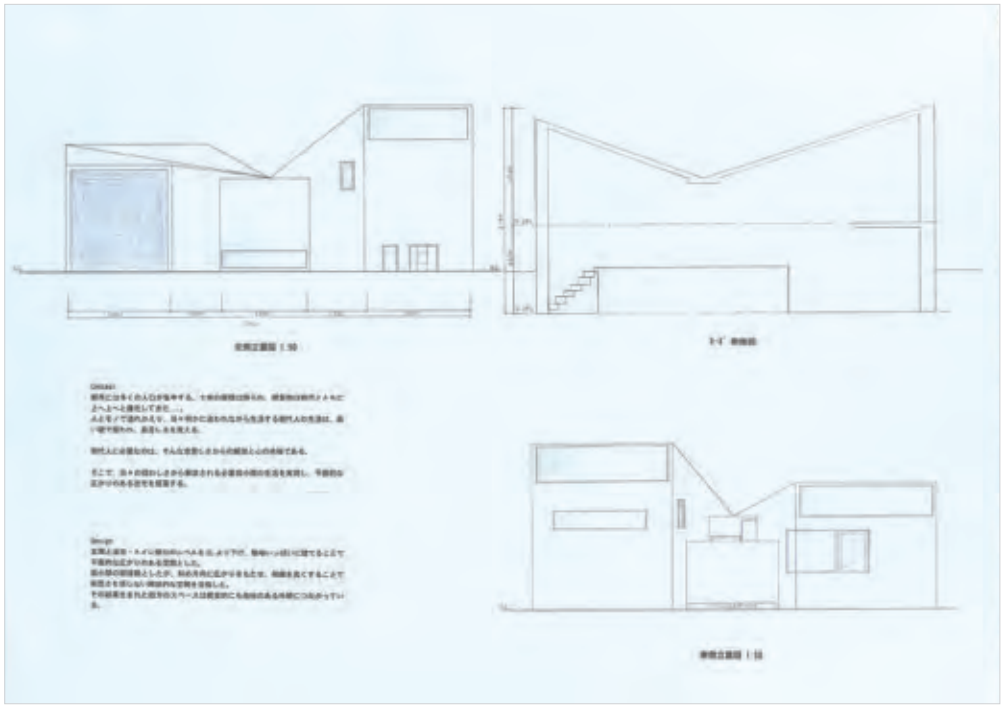
岩木　智穂
Chiho Iwaki
4314203

住宅

現代人の生活にふさわしい魅力ある住まいの設計。敷地は東西14m×南北18m。北に車道、南にプレイロットと遊歩道が隣接。周囲は閑静な住宅地。家族構成は夫婦と子供二人（10代の長男、長女）。

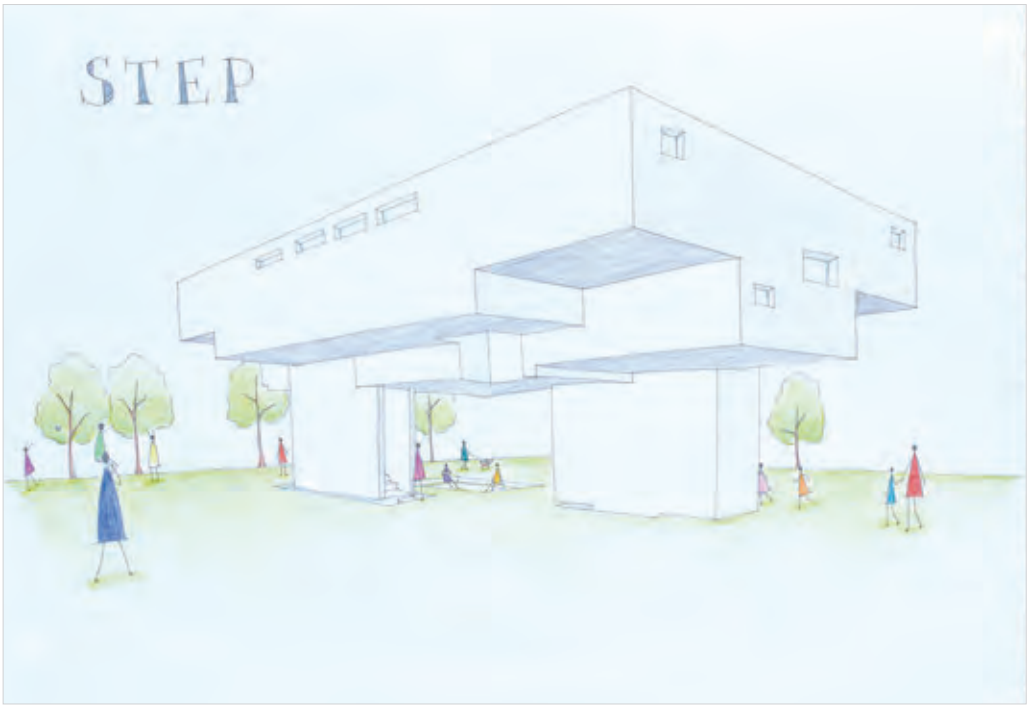
松本蒼志　4314138
Aoshi Matsumoto





住宅

岩木智穂
Chiho Iwaki
4314203



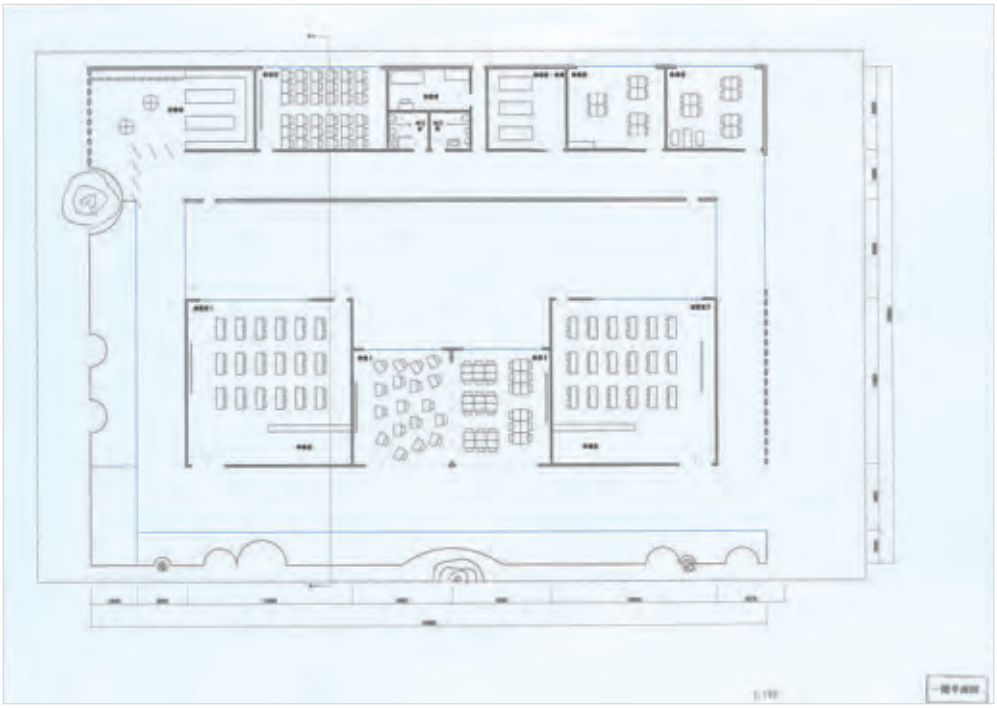


デザイン・スクール

これは、趣味や日常生活、あるいは将来の仕事のためにデザインを学ぶための建築です。（ファッション、インテリアの２コース。２年制）。デザインの勉強にふさわしい雰囲気のキャンパスと学校生活を楽しめるような場を留意してほしい。設計にあたっては次のことに留意してほしい。　①授業ばかりでなく、課外での学習・休憩など、学生の活動・動きを考えた建築の提案。（内部空間のほか、校庭など屋外の場のあり方、内部とのつながり方など）　②校舎全体が円滑に機能するような各空間の配置の検討。（教室群、演習室、教員室、図書室、管理用諸室、休憩・移動空間、屋外の居場所など、相互の位置関係）　③敷地周辺の環境との関係や住民に開かれた建築の提案など。

大西佳那子　4313108
Kanako Onishi

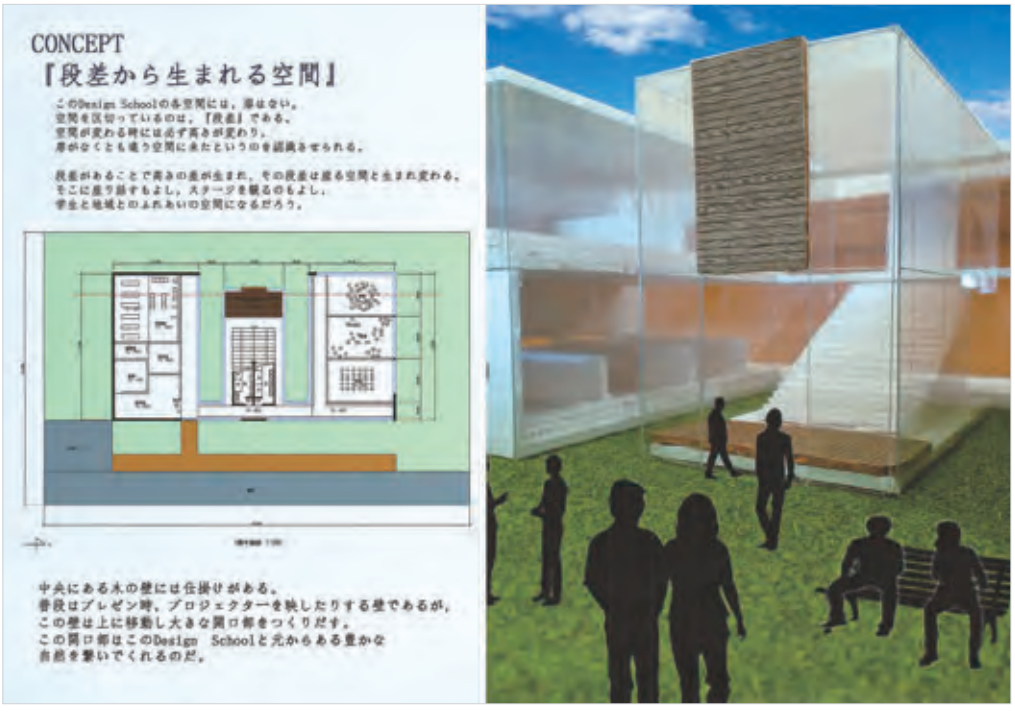




デザイン・スクール

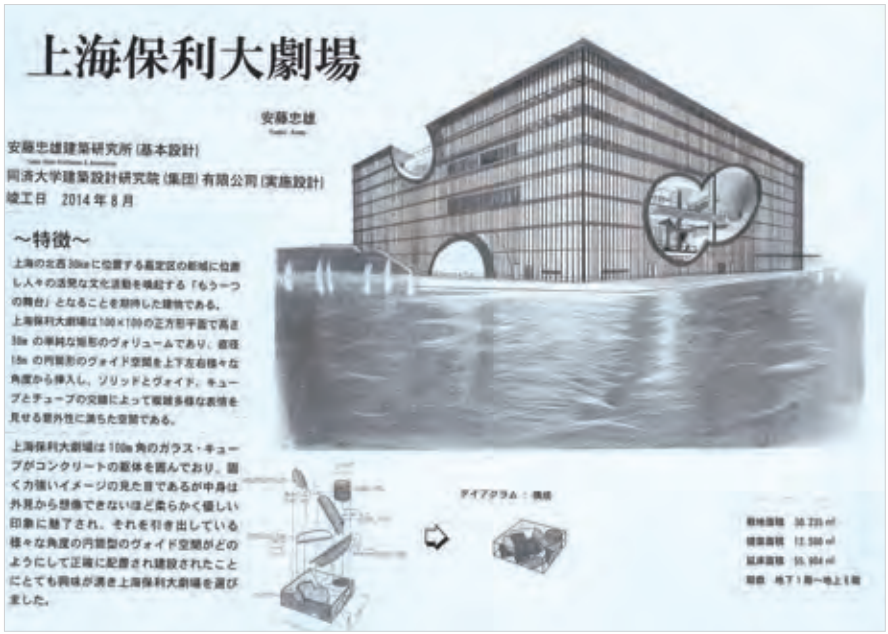
林　健太　4313227
Kenta Hayashi



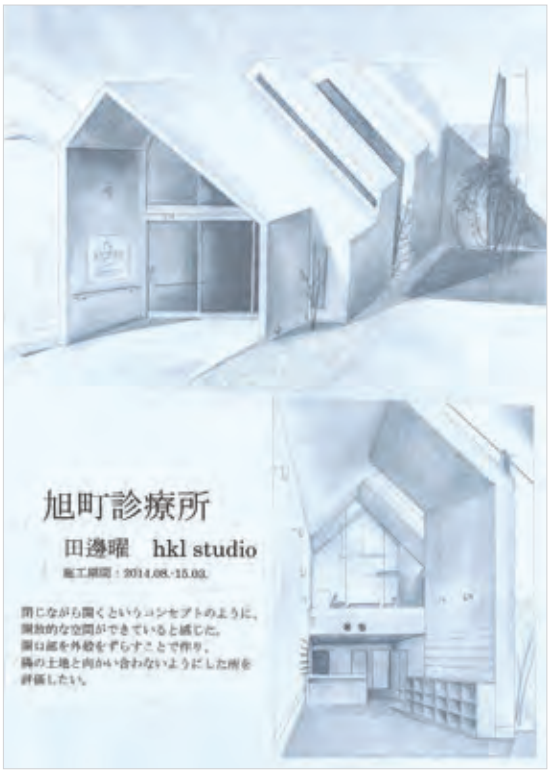


小課題「建築作品をさがそう」

これは、趣味や日常生活、あるいは将来の仕事のためにデザインを学ぶための建築です。（ファッション、インテリアの2コース。2年制）。デザインの勉強にふさわしい雰囲気のキャンパスと学校生活を楽しめるような場を留意してほしい。設計にあたっては次のことに留意してほしい。①授業ばかりでなく、課外での学習・休憩など、学生の活動・動きを考えた建築の提案。（内部空間のほか、校庭など屋外の場のあり方、内部とのつながり方など）②校舎全体が円滑に機能するような各空間の配置の検討。（教室群、演習室、教員室、図書室、管理用諸室、休憩・移動空間、屋外の居場所など、相互の位置関係）③敷地周辺の環境との関係や住民に開かれた建築の提案など。



三貫納巧也
Sanagashi Takuya
4313123

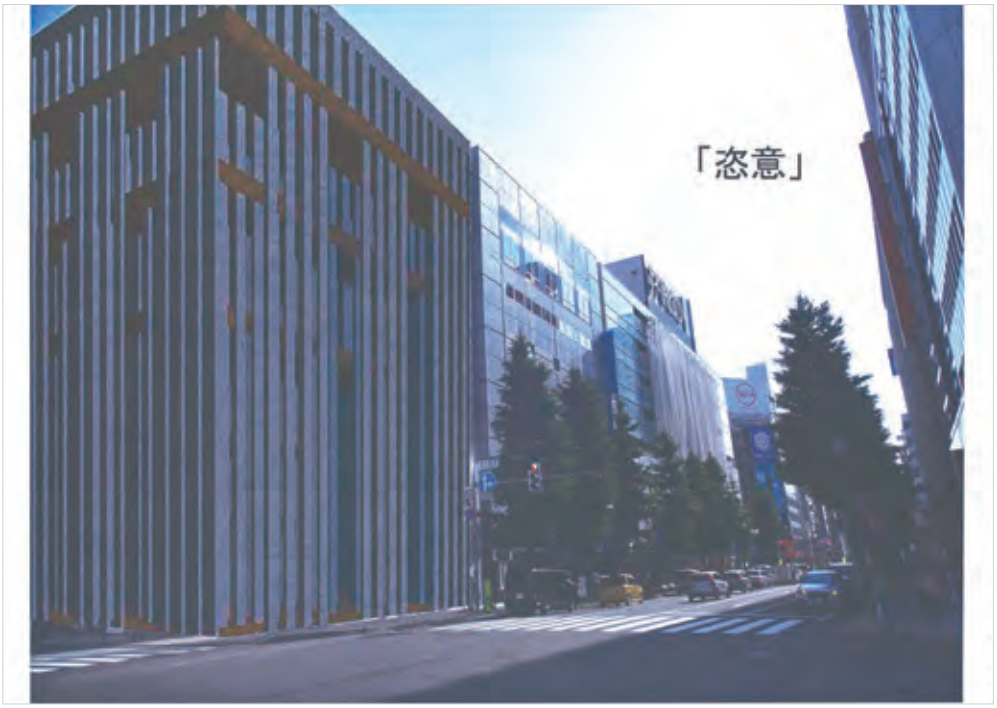


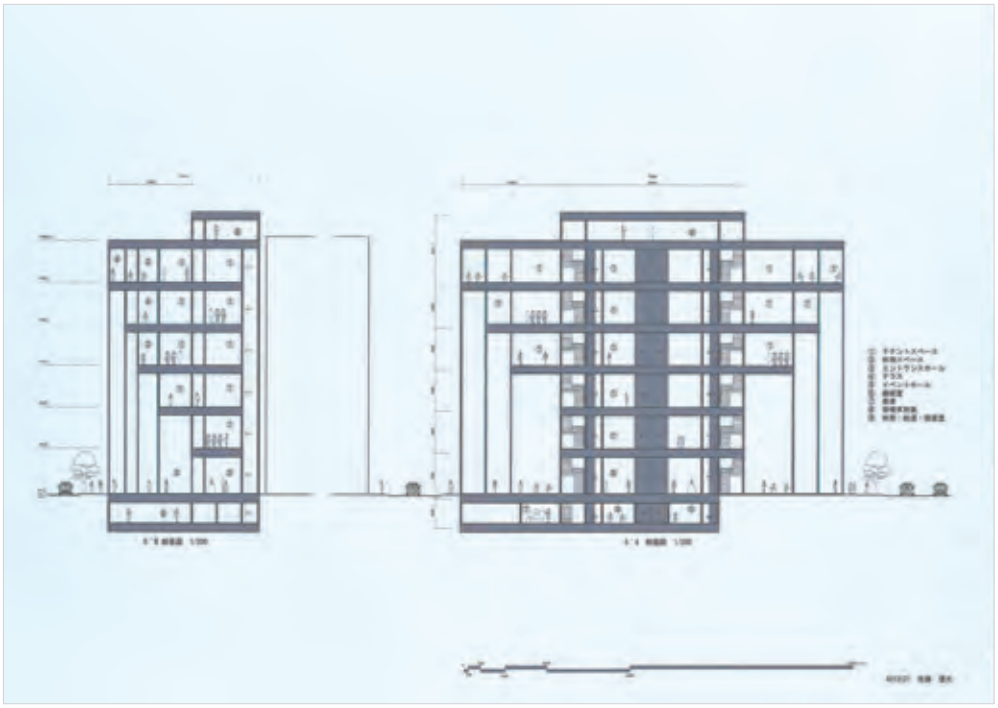
下家悠花
Haruka Shimoya
4313213

テナント・ビル

床を多層化したビルは都心における建築の典型です。多層化に伴い構造、設備、交通空間などが立体化し、近隣のビルや街並とも密接した関係におかれます。それらは制約条件といえますが、同時に都市建築ならではの特徴でもあります。都心に働く人々や都心を楽しむ人々にとってどのような建築が期待されるか、また街並や敷地条件に対してどのような建築がふさわしいか、テナント・ビルの設計を通じて提案してほしい。

佐藤優太 4313121
Yuuta Sato





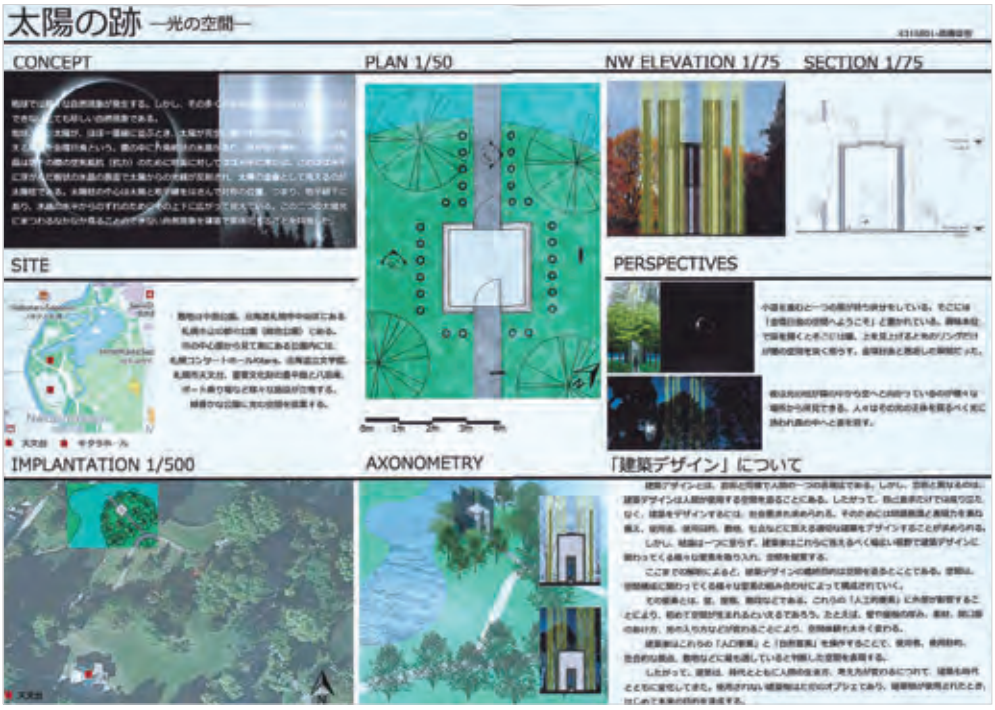
山本祥暉　4313244
Yoshiki Yamamoto



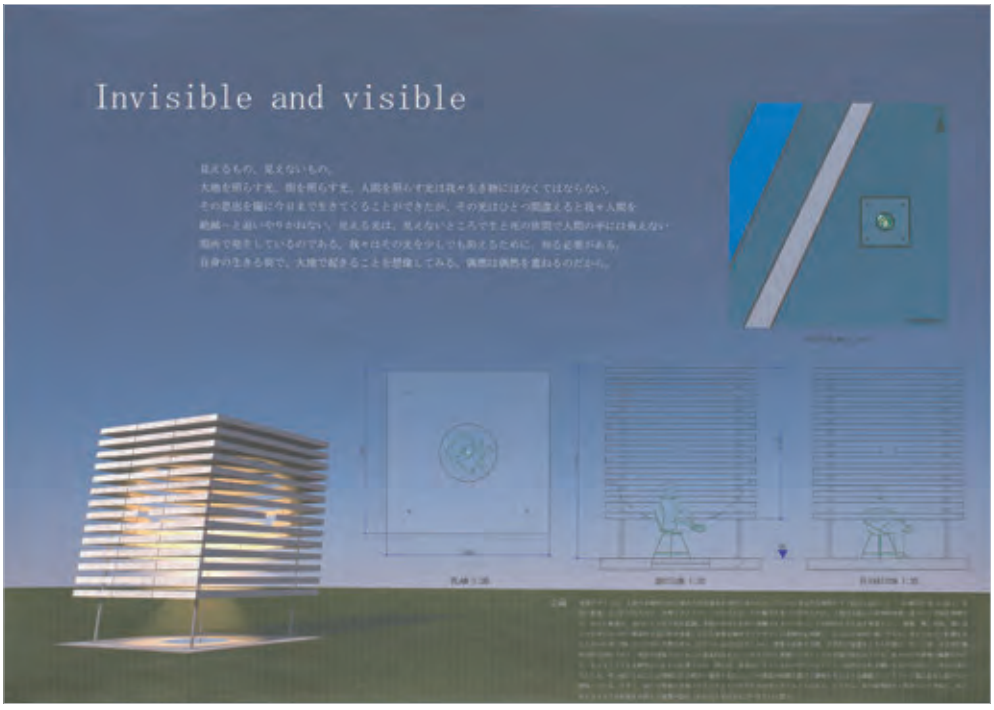


光の空間

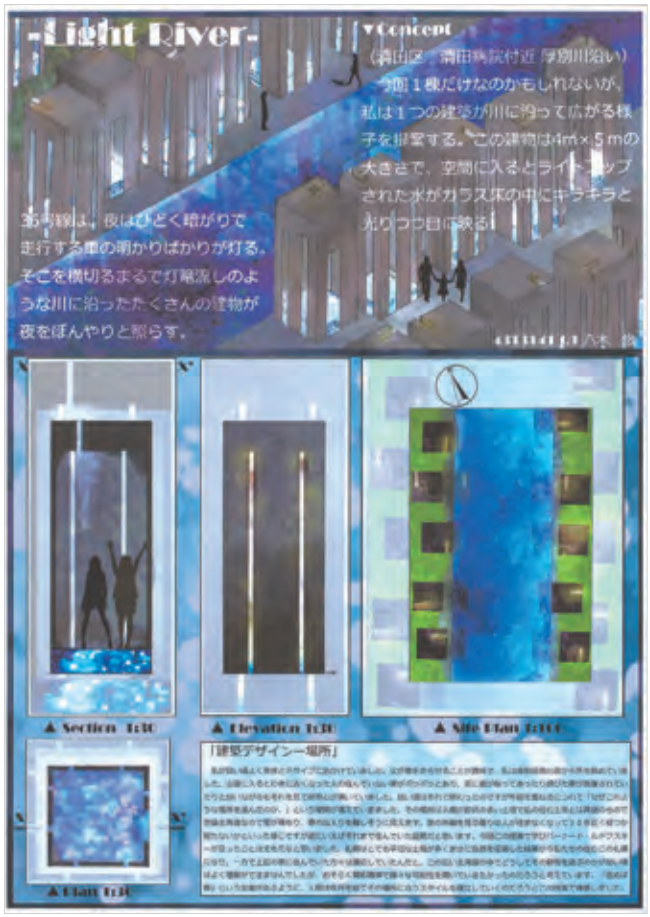
建築空間の豊かさは、面積や容積のような数量を基準に判断できるものではありません。人間がその空間を体験したときに、何らかの印象として知覚するものです。そのような印象を与える要素としては、例えば、ヴォイドの輪郭、素材や色、多様な動線、外部との関係、そして光の変化などがあります。これらによる空間効果は、広く大きい空間よりも、狭く小さい空間から、より実感できます。なぜならば、限定される不自由さが、独創的なアイディアを生むからです。今回の課題は、限定された20m^{2}の空間の中に、「光の空間」をデザインします。



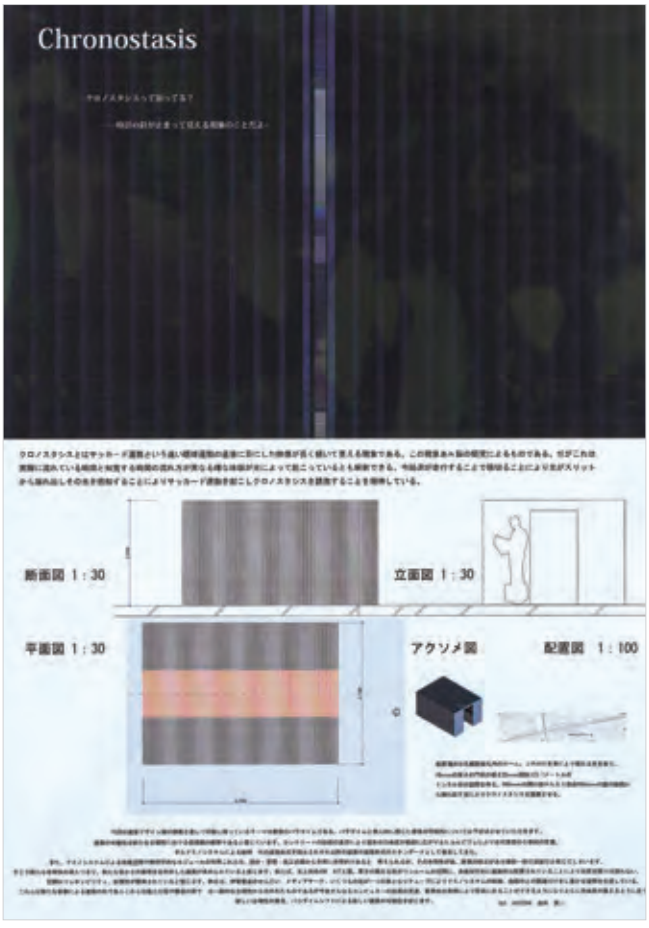
太陽の跡
高橋深雪
Miyuki Takahashi
4315801



Invisible and visible
山本祥暉
Yoshiki Yamamoto
4313244



Light River
八木　悠
Haruka Yagi
4313141



Chronostasis
池田寛二
Kanji Ikeda
4312204

アート＋建築＝X

アートという言葉からは、芸術や美術とは異なる印象が伝わってきます。アートは、芸術や美術と言葉の意味することは同じとは言え、あまり堅苦しい印象はなく、比較的人々にとって身近な存在になっています。現在の都市空間の中には、表現手段は多様ながらもアートは満ち溢れています。このようなアートを建築と組み合わせるとどうなるでしょうか。既存のビルディングタイプからは、美術館が想像させられます。しかし、既存の美術館は、展示された芸術や美術作品を「見る」という行為が中心になり、展示空間では、学芸員などの管理者側の視線によって、作品との間に距離感を生じさせています。今回の課題では、芸術や美術に限定せず、人々にとって身近な存在であるアートと建築の関係性を模索しながら、今までの美術館とは異なる建築を設計することを目的としています。

佐藤優太
Yuuta Sato
4313121





佐野文香　　4313124
Ayaka Sano





電車通りの「みんなの家」

複数の世帯が集まって住む共同住宅は、「いえ」と「まち」の中間に位置しています。したがって、共同住宅は、個人の住む快適性を追求することも大切ですが、「まち」との関わりを意識することも大切になってきます。今回の課題、電車通りの「みんなのいえ」は、このような観点から、「いえ」と「いえ」、「いえ」と「まち」のバッファーゾーンを考えることを目的としています。札幌の都心に住むことを前提にしながら、個人の快適な空間だけではなく互いの関係を意識できる空間として、集まって生活することができる『みんなのいえ』を提案してください。

佐藤優太
Yuuta Sato　　4313121





大西佳那子　4313108
Kanako Onishi



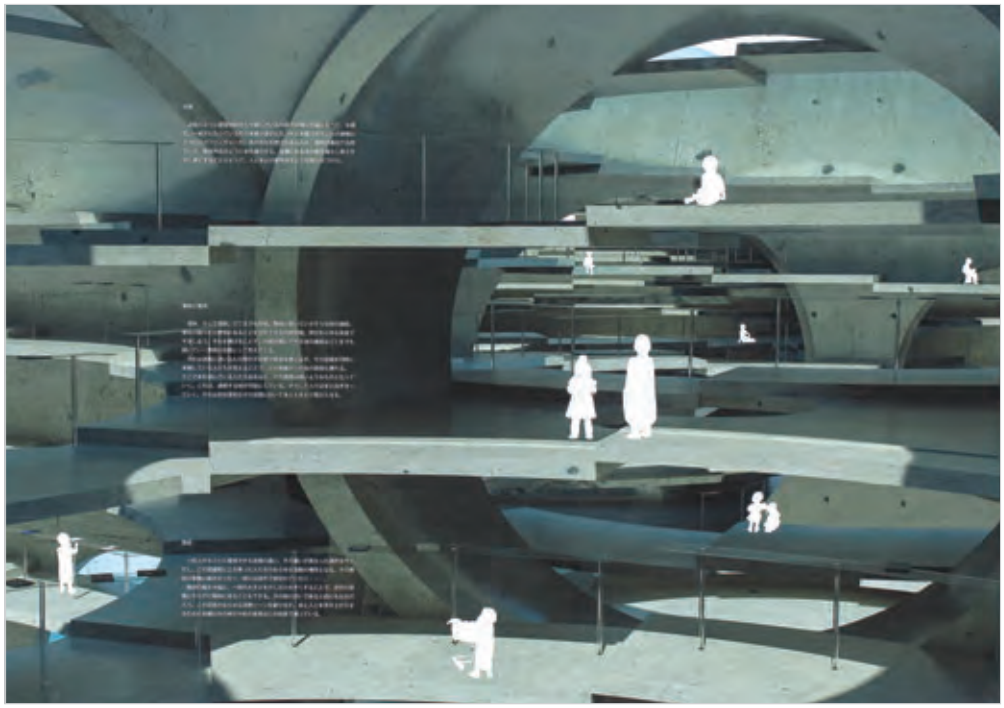


創成川公園前のトショカン

既存の図書館は、主に利用者に収集した資料や情報を最大限に提供し、調査研究に役立てる社会教育施設として機能しています。しかし、普段利用する上では、利用者の書斎であったり、勉強部屋のような場所であったりと、日常的な空間の延長として存在しているのが実状だと思います。しかし、既存の図書館をかえりみると、いかにも「公共建築的」で、人々が心地よい場所として利用できる本来の建築空間としての視点が大きく欠けています。その居心地の悪さが人々のためのコミュニティスペースとしての機能性を満足させていない理由にもつながっています。本来の公共建築には、もっと人々の交流の拠点となるような、生きた建築が求められているはずです。今回この課題で、札幌の都心に、図書館の機能を中心とした、人々のための、あるいは個人のための「新たなトショカン」を考えてみます。

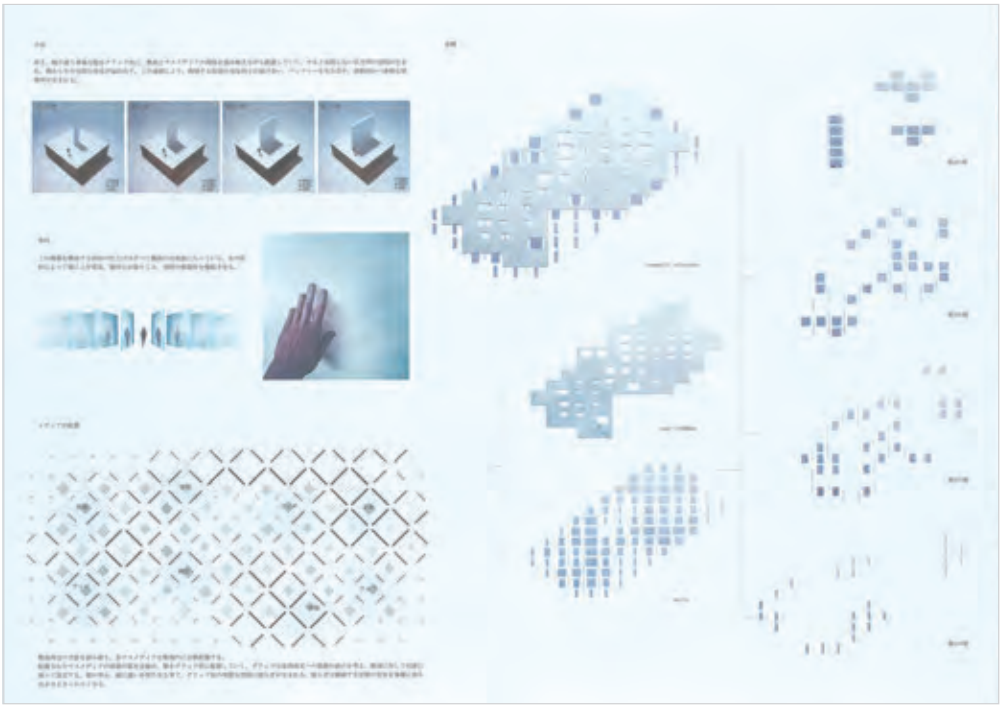
吉田昂平　4312138
Kouhei Yoshida





河中宗一朗　4312212
Syuichiro Kawanaka



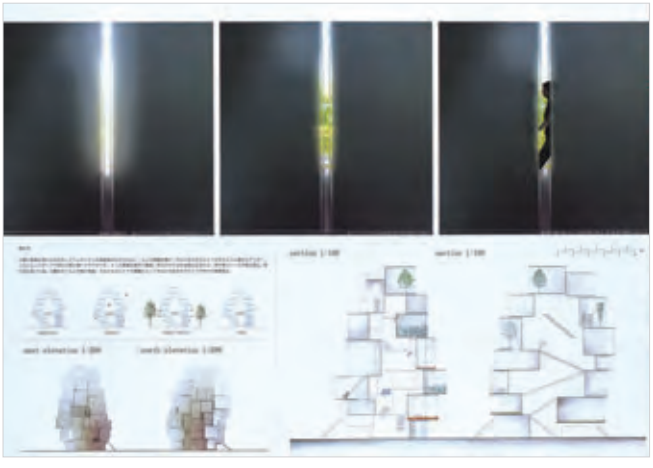


光と邂逅する建築

建築にとって、光は必要不可欠です。人体にたとえると血液のようなものです。建築形態に表情を作り出すために、内部空間を生かすための光は極めて重要な存在です。光は、建築に豊かさを生み出し、生活に潤いを与えます。今回の課題は、公園の中に「光と邂逅する建築」を設計します。ここには、休息の空間、祈りの空間、遊びの空間、出会いの空間など人々の生活に安らぎを与えるための空間を用意します。空気のような存在である光をあらためて見つめなおすことによって、建築空間の存在意義を再確認します。

河中宗一朗　4312212
Syuichiro Kawanaka





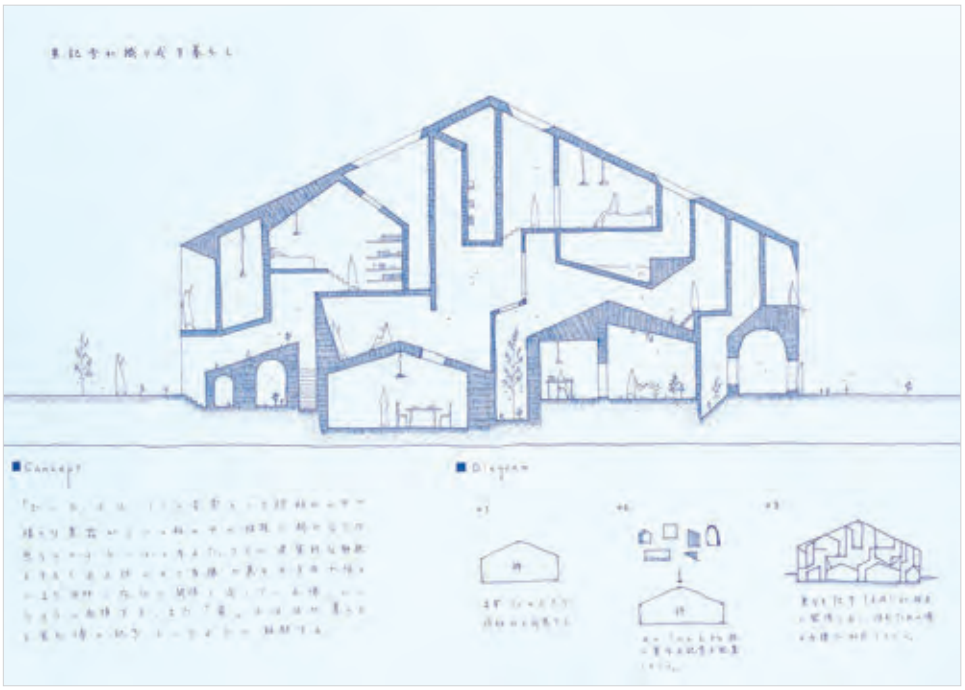
木戸裕章　　4312214
Hiroaki Kido





第1位

修士2年生　山崎貴生
Atsuki Yamazaki
6314102



ポスター



名　　称　第8回北海学園大学工学部建築学科学内デザインコンペ
通称「 ガクナイコンペ vol.8　ー即日設計ー 」

参加資格　北海学園大学・大学院に所属する学生であること。
学部、学科は問いません。申し込みは必要ありませんので
参加希望者は直接会場へお越し下さい。

審　　査　【委員長】
髙木貴間　髙木貴間建築設計事務所　98 年卒業
【委　員】
大坂美保子　一級建築士事務所アーキラボ・ティアンドエム　98 年卒業
神谷幸治　空間工作所　01 年卒業
米田英美　ヨネタエミ建築スタジオ　01 年卒業
目黒祥久　(株) 横河建築設計事務所　02 年卒業
古池章規　(株) ドーコン　07 年卒業
中川幸之助　中川幸之助建築デザイン　09 年卒業

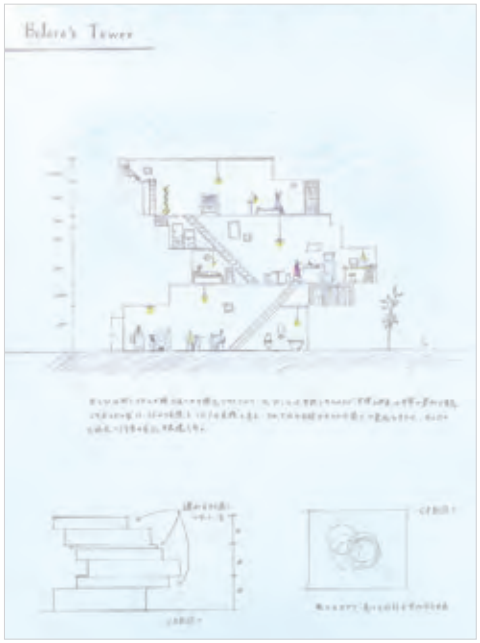
提 出 物　【テーマ】ボレロの家
【敷　地】自由 (学校敷地内に限定しません)
【提出物】A2サイズケント紙 1 枚
(平面図 + 設計意図を説明する断面・立面や内外観スケッチなど)
※パソコンを使用した作品・プリンターによる印刷物は認めません。

提 出 日　2015 年 10 月 10 日 (土)
9:00　課題配布・設計開始
14:00　課題提出
14:00〜15:30　プレゼンテーション
16:00〜　表彰・懇親会
※遅れての参加も認めますが、設計時間が短くなります。

賞　　品　一　等　1 点　イームズチェアー
二　等　1 点　エレファントスツール
三　等　3 点　リキスツール
学年賞　2 点　LAMY noto　(1・2 年生対象)

当日持参するもの　筆記用具 (シャープペン・エンピツ・色鉛筆・消しゴム・三角スケール・定規など)
※エンピツ 1 本からでも参加できます。
※会場にて A2 サイズケント紙 (1 人数枚程度)、カッターマットは提供します。

注意事項　審査は A2 ケント紙 1 枚の内容、及びプレゼンテーションの内容によります。模型は評価の対象になりません。
休憩や敷地リサーチを含め、製図室外への出入りは自由とします。
規定以外の事項に関しては応募者の自由裁量とします。

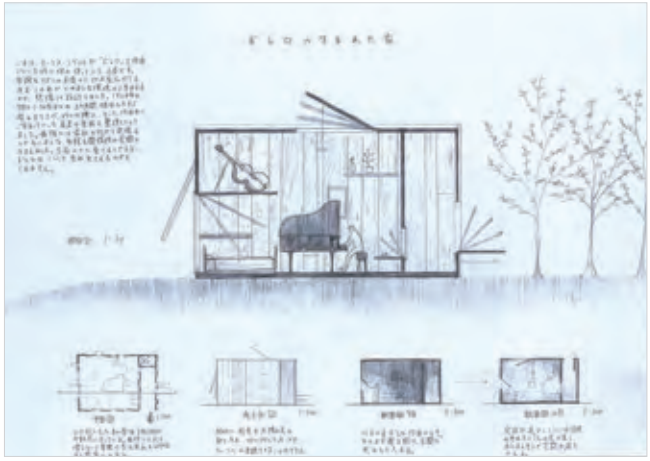


第２位

1年生　髙見堂風花
Fuuka Takamidou
4315227

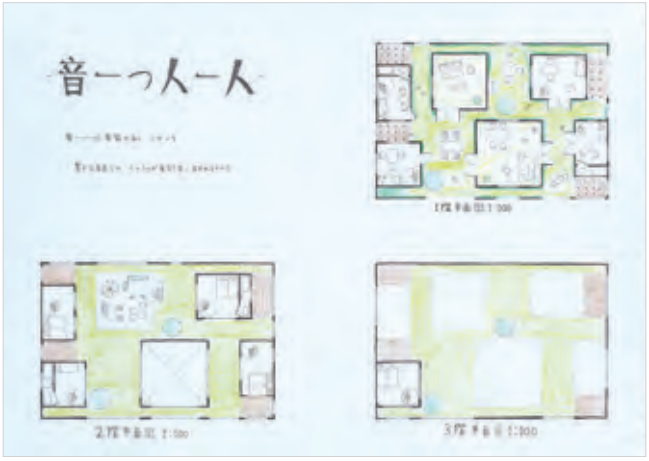
第３位

4年生　河中宗一朗
Syuichiro Kawanaka
4312212



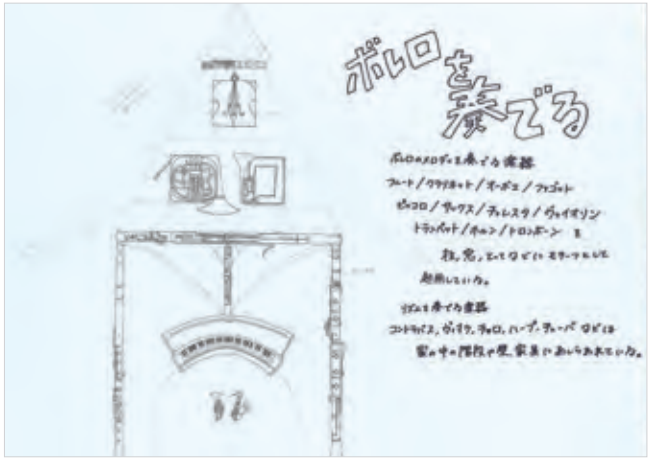
第３位

3年生　佐藤優太
Yuta Sato
4313121



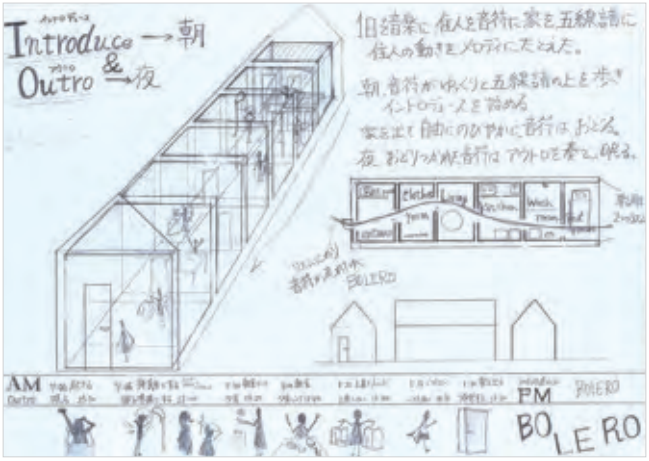
学年賞
１年生

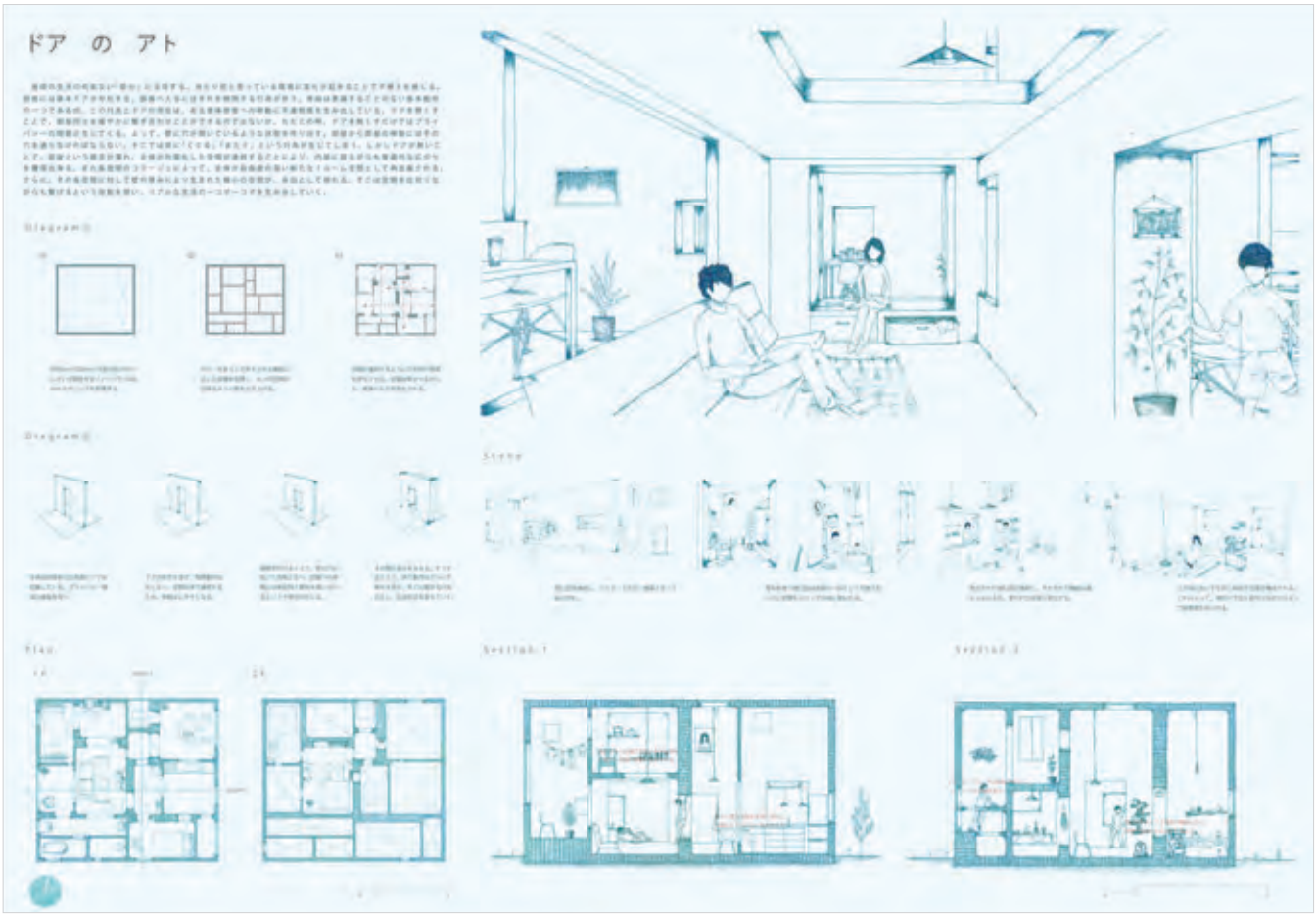
1年生　久保ふくの
Fukuno Kubo
4315114



学年賞
２年生

2年生　佐々木唯
Yui Sasaki
4314222





「第6回JIAテスクチャレンジ設計コンペ」優秀賞
修士2年生　山崎貴生　　Atsuki Yamazaki　　6314102



北海道建築士事務所協会主催　「第40回北の住まい住宅設計コンペ」奨励賞1
修士2年生　山崎貴生　　Atsuki Yamazaki　　6314102



北海道建築士事務所協会主催　「第40回北の住まい住宅設計コンペ」奨励賞2
修士2年生　山崎貴生　　Atsuki Yamazaki　　6314102

解かれる境界　コウエンと繋がる暮らし
～街区公園を取り巻く札幌市における新たな建築作品の具体的提案～

山崎貴生　6314102
Atsuki Ymazaki

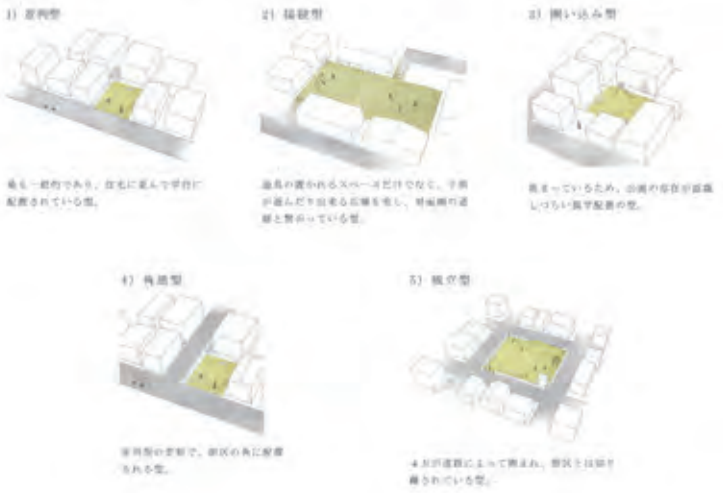
長い歴史の中で、公園の規模や機能は時代と共に変化してきた。今回注目する街区公園もその一つであり、人々の生活と密接に関わる空間であった。しかし、近代化の進んだ現代社会において、人々のライフスタイルは目まぐるしく変化し続けているため、街区公園と人々の生活との間にズレが生じてしまっている。パッケージ化された公園が完結した状態で今も配置され続けているのだ。さらに、特に札幌においては気候風土の関係により、外部と内部、また公と私の関係性を構築する建築的操作が消極的であり、公園とその周辺環境には不可視な境界が存在している。その結果、街区公園は本来の機能を失いかけ、無用性を印象付ける空間として残っている。以上より、今回の修士特定課題研究では札幌の建築形式、さらには建築を構成する主要な要素に注目し、3つの具体的な街区公園を取り巻く環境においてそれらの要素のあり方を再考することで、新たな関係性を持つ建築空間を設計提案する。

■札幌市の街区公園分布図



札幌市の街区公園数は全国の中で一番多く、都市を構成する要素として存在していると言える。しかし、近年では利用されない街区公園が増加してきており、特に面積が小さく、さらに設置年代が古い状態では、一日の利用者数が二人以下というデータもあるほど、無用性を印象付ける空間になりつつある。これに対応すべく札幌市では、街区公園面積が1,000㎡以下の場所においては、公園の機能を変化させ、分担していこうとする動きがある。

■中央区における街区公園の類型化



中央区に現存する107の街区公園を観察し、配置上（道路との接し方、周囲の建築との位置関係）についての分析を行った結果、いくつかの型が存在することが分かる。上図は、その型を大まかに5つに類型化してダイアグラム化したものである。





■中央区における具体的な街区公園分布図



中央区には全部で107箇所の街区公園が存在しており、小規模の街区公園（面積1,000㎡を基準とする）が62箇所存在する。これは全体の約60%に及ぶ。

1. 面積1,000㎡を基準とする中央区における街区公園分布図



同様に次は設置年代で、昭和50年を境にしたときの分布図である。中央区の中でも北と南に集在していることが分かる。

2. 設置年代を昭和50年の基準とする中央区における街区公園分布図



さらに、面積が1,000㎡未満で尚且つ設置年代が昭和50年以前の街区公園の分布を見てみる。これによると、南区に近い山鼻地区に該当する街区公園が集中していることが分かる。

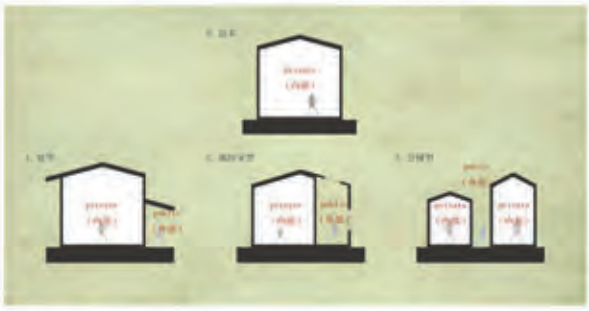
3. 昭和50年以前に設置され、かつ面積1,000㎡以下である中央区における街区公園分布図



配置の類型化と、1~3の分布図を元に新たな図を作成する。山鼻地区周辺には、敷地にするための条件が揃う街区公園が12箇所あり、さらにこの中から周辺環境に存在する建築と物理的な距離が近い街区公園を敷地に絞る。

4. Overlapさせた中央区における類型化された街区公園分布図

■札幌市における境界に対する操作方法の分類化



明治から始まり、大正、戦前の昭和、戦後の昭和、そして1986年～現在に至るまで、快適な生活をするために、札幌の風土の中においては、冬の寒さの気候にどのように住対応するかということが第一に求められてきた。技術の発展や新素材の開発によって、伝構造における熱熱、また木造においても十分な断熱性や気密性を確保することが可能となった。このような状況の中、技術だけに留まらない新たな形式が現在次々に生み出されてきている。特に「内と外」、また「公と私」の境界における領域性を考慮することは、技術と共に札幌の風土が生んだ1つの方向性である。

さらに建築を構成する主要な要素（部分）に注目することによって、新たな「境界」をテーマにした建築形式の可能性を見出すことが出来ると考えられる。







2015年度 北海学園大学 工学部建築学科　設計関連科目担当教員リスト （五十音順）

The list of professor taking charge of the subject about a design '15

4年生2学期　卒業設計	石橋　達勇	Tatsuo Ishibashi	工学部建築学科教授
	岡本　浩一	Kouichi Okamoto	工学部建築学科教授
	小野　恭平	Kyohei Ono	工学部建築学科教授
	米田　浩志	Hiroshi Yoneta	工学部建築学科教授
1年生1学期　造形演習 Ⅰ	原井　憲二	Kenji Harai	工学部建築学科教授
1年生2学期　造形演習 Ⅱ	原井　憲二	Kenji Harai	工学部建築学科教授
2年生1学期　空間デザイン演習基礎	岡本　浩一	Kouichi Okamoto	工学部建築学科教授
	非常勤講師		
	伊藤　千織	Chiori Ito	伊藤千織デザイン事務所
	髙木　貴間	Yoshichika Takagi	髙木貴間建築設計事務所
2年生2学期　空間デザイン演習 Ⅰ	石橋　達勇	Tatsuo Ishibashi	工学部建築学科教授
	小野　恭平	Kyohei Ono	工学部建築学科教授
	非常勤講師		
	植田　暁	Satoshi Ueda	風の記憶工場
	臼井　巧	Takumi Usui	office for design
	小倉　寛征	Hiroyuki Ogura	Sa design office
	小西　彦仁	Hikohito Konishi	ヒココニシ設計事務所
3年生1学期　空間デザイン演習Ⅱ	石橋　達勇	Tatsuo Ishibashi	工学部建築学科教授
	小野　恭平	Kyohei Ono	工学部建築学科教授
	非常勤講師		
	赤坂真一郎	Shinichiro Akasaka	アカサカシンイチロウアトリエ
	小西　彦仁	Hikohito Konishi	ヒココニシ設計事務所
	堀尾　浩	Hiroshi Horio	堀尾浩建築設計事務所
	加藤　誠	Makoto Kato	アトリエブンク
3年生1学期　建築デザイン論	米田　浩志	Hiroshi Yoneta	工学部建築学科教授
3年生2学期　空間デザイン演習Ⅲ	米田　浩志	Hiroshi Yoneta	工学部建築学科教授
	非常勤講師		
	赤坂真一郎	Shinichiro Akasaka	アカサカシンイチロウアトリエ
	山内　圭吉	Keikichi Yamauchi	山内圭吉建築研究所
4年生1学期　空間デザイン演習 Ⅳ	米田　浩志	Hiroshi Yoneta	工学部建築学科教授
	非常勤講師		
	遠藤謙一良	Kenichiro Endo	遠藤建築アトリエ
	山内　圭吉	Keikichi Yamauchi	山内圭吉建築研究所

※科目の順番は作品掲載順による

2015年度 北海学園大学 工学部建築学科　設計作品集　第22号
HOKKAI-GAKUEN UNIVERSITY ARCHITECTURAL DESIGN WORKS '15 vol.22

発行日／2016年10月1日

発行／北海学園大学工学部建築学科
編集責任者／米田浩志
〒064-0926
札幌市中央区南26条西11丁目
TEL：011-841-1161
FAX：011-551-2951
URL：eng.hgu.jp/arc

編集・デザイン／エイチエス株式会社
〒064-0822
札幌市中央区北2条西20丁目1-12佐々木ビル
TEL：011-792-7130
FAX：011-613-3700

北海学園大学 工学部建築学科 設計作品集 2015

HOKKAI-GAKUEN UNIVERSITY
NISHI-11.MINAMI-26.CHUO-KU.SAPPORO 064-0926